

令和2年8月7日

# 令和2年上半期における 特殊詐欺の状況について

警視庁特殊詐欺対策プロジェクト

# 目次

## 1 被害状況

(1) 特殊詐欺	・・・ 1
(2) オレオレ詐欺	・・・ 4
(3) 預貯金詐欺	・・・ 7
(4) 架空料金請求詐欺	・・・ 9
(5) 還付金詐欺	・・・ 11
(6) 融資保証金詐欺	・・・ 15
(7) 金融商品詐欺	・・・ 16
(8) ギャンブル詐欺	・・・ 17
(9) 交際あっせん詐欺	・・・ 18
(10) その他の特殊詐欺	・・・ 18
(11) キャッシュカード詐欺盗	・・・ 19
(12) キャッシュカード等手交等に占める割合	・・・ 22
(13) 犯行予兆電話の通報状況	・・・ 22
(14) 犯行利用電話の種別	・・・ 23

## 2 検挙状況

(1) 特殊詐欺本犯	・・・ 24
(2) 特殊詐欺助長犯	・・・ 27

## 3 未然防止等の状況

(1) 未然防止状況	・・・ 28
(2) 金融機関による未然防止状況	・・・ 29
(3) 被害金調達状況	・・・ 30
(4) 金融機関における被害金調達状況	・・・ 31
(5) 金融機関窓口による阻止率	・・・ 31
(6) 未然防止の好事例	・・・ 32

※ 本統計に関する割合の数値は、四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがあるが、便宜上、合計は100%と記す。

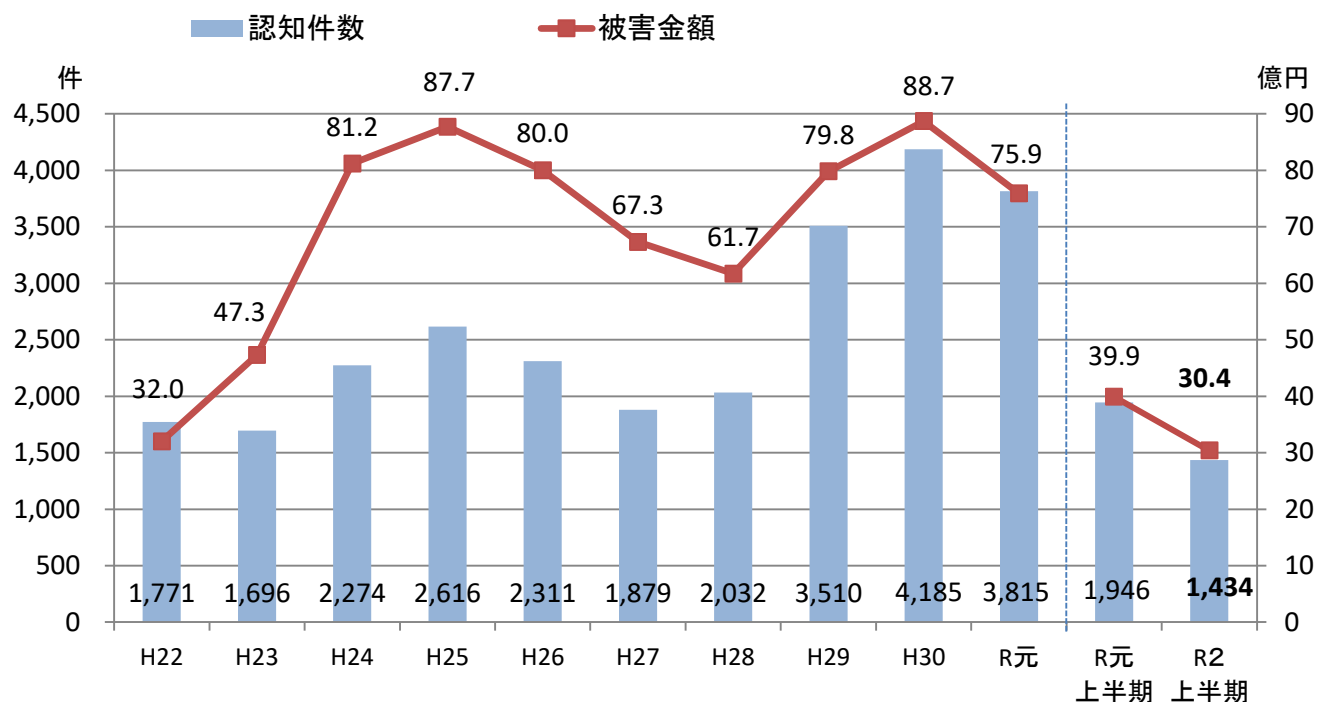
※ 特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪（現金等を脅し取る恐喝及び隙を見てキャッシュカード等を窃取する窃盗を含む。）の総称

なお、特殊詐欺は、オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金詐欺、金融商品詐欺、ギャンブル詐欺、交際あっせん詐欺、その他の特殊詐欺及びキャッシュカード詐欺盗の10類型に分類する。

# 1 被害状況

## (1) 特殊詐欺

### ア 認知状況の推移 (H22~R2)



※ H23年からR元年まで「振り込め類似詐欺」を計上、H30年から「キャッシュカード詐欺盗」を計上

### イ R2年上半期における認知状況

	オレオレ詐欺		預貯金詐欺		架空料金請求詐欺		還付金詐欺		融資保証金詐欺		金融商品詐欺		ギャンブル詐欺		交際あっせん詐欺		その他の特殊詐欺		キャッシュカード詐欺盗		合計	
	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂
認知件数	R2年・上半期	243 (219)	232 (216)	72 (71)	370 (370)	14 (14)	14 (12)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	484 (478)	1,434 (1,385)										
	R元年・上半期	273 (231)	549 (522)	196 (186)	581 (581)	8 (8)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	336 (334)	1,946 (1,865)										
	前年比	-30 (-12)	-317 (-306)	-124 (-115)	-211 (-211)	+6 (+6)	+14 (+12)	+1 (+1)	+1 (+1)	±0 (±0)	+148 (+144)	-512 (-480)										
	増減率	-11.0% (-5.2%)	-57.7% (-58.6%)	-63.3% (-61.8%)	-36.3% (-36.3%)	+75.0% (+75.0%)	-	+33.3% (+33.3%)	-	-	+44.0% (+43.1%)	-26.3% (-25.7%)										
被害金額	R2年・上半期	862,202,725	321,241,035	258,609,441	624,598,882	28,248,153	72,287,679	3,478,390	400,000	0	865,845,547	3,036,911,852										
	R元年・上半期	984,149,575	669,142,730	928,604,716	779,933,693	46,273,375	0	27,130,000	0	0	554,442,761	3,989,676,850										
	前年比	-121,946,850	-347,901,695	-669,995,275	-155,334,811	-18,025,222	+72,287,679	-23,651,610	+400,000	±0	+311,402,786	-952,764,998										
	増減率	-12.4%	-52.0%	-72.2%	-19.9%	-39.0%	-	-87.2%	-	-	+56.2%	-23.9%										
R2年平均金額(既遂)	3,936,999	1,487,227	3,642,386	1,688,105	2,017,725	6,023,973	869,598	400,000	0	1,811,392	2,192,716											

※ 被害金額は、カード手交後の引出金額を含む（以下同じ。）。

※ R元年の「オレオレ詐欺」、「架空請求詐欺」におけるカード手交を「預貯金詐欺」に分類して前年比を算出

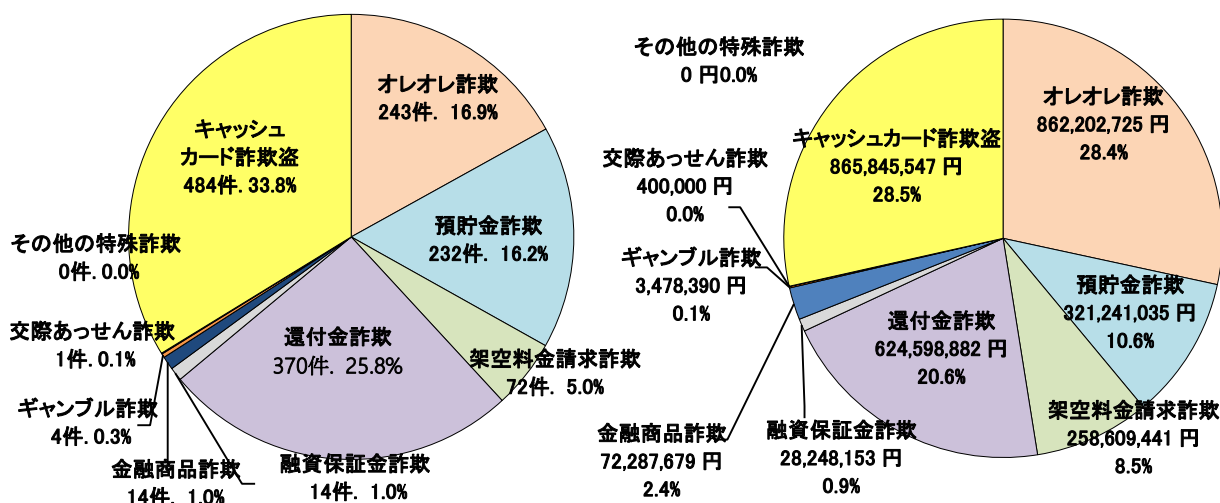
○ R2年上半期の被害については、認知件数1,434件、被害金額約30億3,691万円で、前年と比べ認知件数は512件(26.3%)、被害金額は約9億5,276万円(23.9%)減少した。

○ 前年と比べ、オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺及び還付金詐欺が減少したが、特にキャッシュカード詐欺盗が増加している。

## ウ 類型別の認知件数及び被害金額

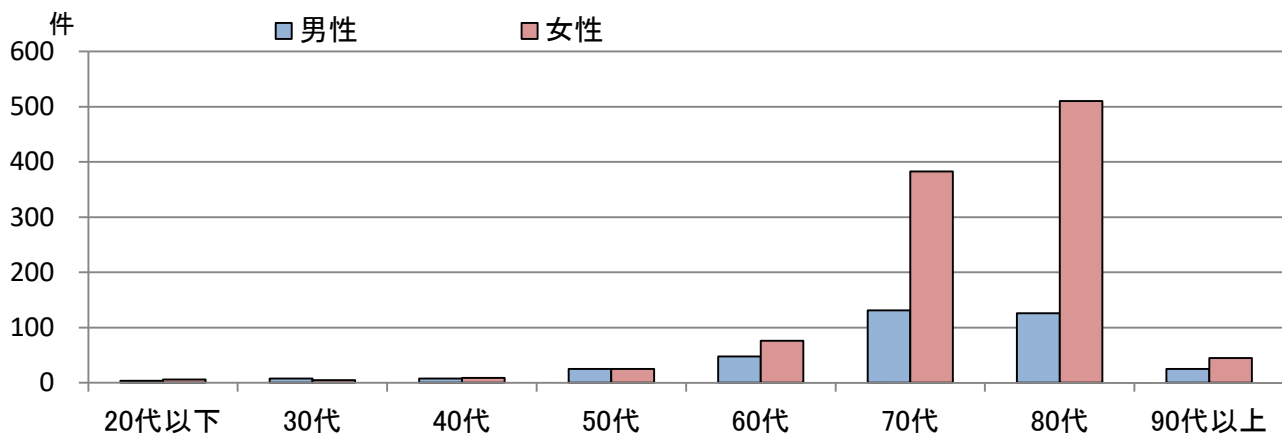
【認知件数 1,434件】

【被害金額 30億3,691万1,852円】



- 認知件数は、キャッシュカード詐欺盗が33.8%を占め、次いで還付金詐欺が25.8%、オレオレ詐欺が16.9%となっている。
- 被害金額では、キャッシュカード詐欺盗が28.5%を占め、次いでオレオレ詐欺が28.4%、還付金詐欺が20.6%となっている。

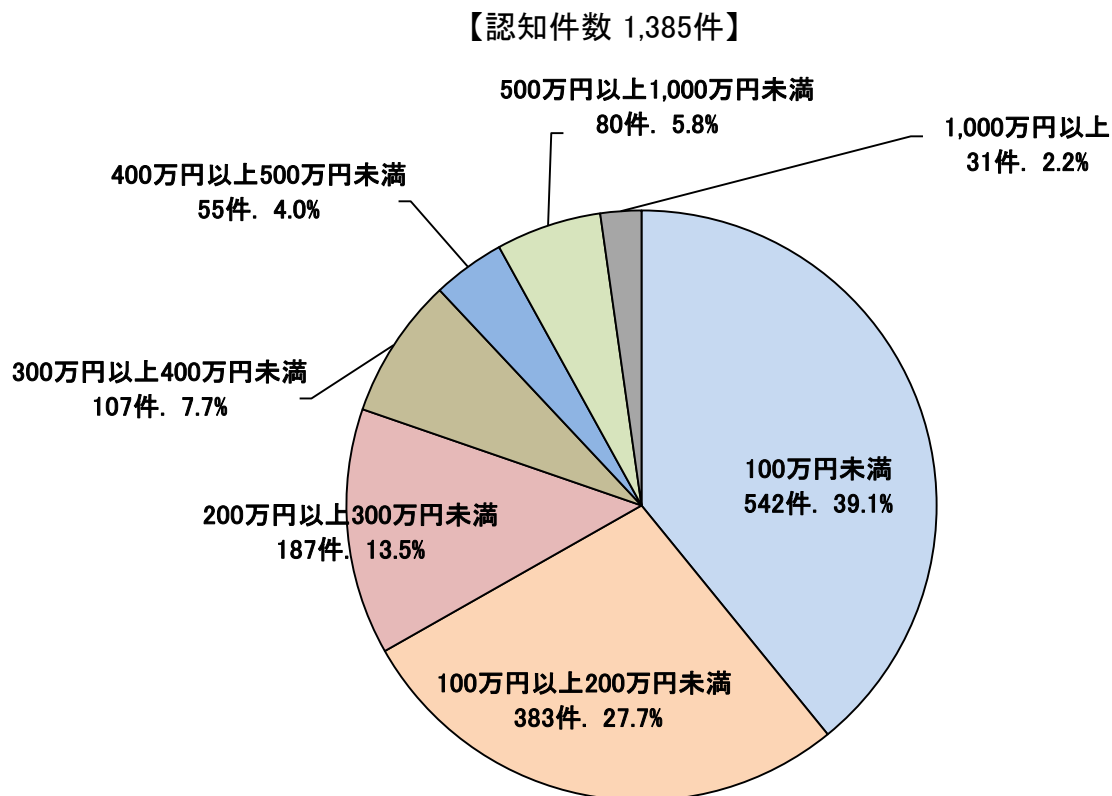
## エ 年代別・男女別の認知件数



		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R2年 上半期	男性	4	8	8	25	48	131	126	25	375	26.2%
	割合	1.1%	2.1%	2.1%	6.7%	12.8%	34.9%	33.6%	6.7%	100.0%	
	女性	6	5	9	25	76	383	510	45	1,059	
	割合	0.6%	0.5%	0.8%	2.4%	7.2%	36.2%	48.2%	4.2%	100.0%	
	合計	10	13	17	50	124	514	636	70	1,434	
	割合	0.7%	0.9%	1.2%	3.5%	8.6%	35.8%	44.4%	4.9%	100.0%	
	前年比	-14	-5	-22	-75	-124	-188	-104	+20	-512	
R元年 上半期	男性	10	8	10	46	88	147	146	11	466	23.9%
	割合	2.1%	1.7%	2.1%	9.9%	18.9%	31.5%	31.3%	2.4%	100.0%	
	女性	14	10	29	79	160	555	594	39	1,480	
	割合	0.9%	0.7%	2.0%	5.3%	10.8%	37.5%	40.1%	2.6%	100.0%	
	合計	24	18	39	125	248	702	740	50	1,946	
	割合	1.2%	0.9%	2.0%	6.4%	12.7%	36.1%	38.0%	2.6%	100.0%	

- 被害者の割合は、約85%(1,220人)が70代以上、男女別では、73.8%(1,059人)が女性である。

## オ 被害金額別の認知件数（未遂を除く。）



## カ 被害金等受取方法別の被害状況

	振込	現金手交	カード手交	送付	電子マネー	コンビニ決済	ATM決済	その他不明	合計
R2年上半期	411	226	738	8	50	1	0	0	1,434
割合	28.7%	15.8%	51.5%	0.6%	3.5%	0.1%	0.0%	0.0%	100.0%
R元年上半期	616	258	902	60	96	11	3	0	1,946
割合	31.7%	13.3%	46.4%	3.1%	4.9%	0.6%	0.2%	0.0%	100.0%

※ 電子マネー ～ 有料サイト利用料金等名目等で、コンビニエンスストア等で販売されている電子マネーを購入させ、シリアル番号を聞き出す手口

※ コンビニ決済 ～ コンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末等を操作させ、決済を代行させて現金をだまし取る手口（セブンイレブンのみ端末はなく窓口決済）

※ ATM決済 ～ Pay-easy（ペイジー）で、コンビニエンスストア以外の金融機関等に設置されているATM（現金自動預払機）等を利用させ、現金をだまし取る手口

○ 受取方法の割合は、カード手交が51.5%を占め、次いで、振込が28.7%となっている。

○ 現金手交及びカード手交に占める割合は、全体の67.3%を占め、特にカード手交の割合が高い。

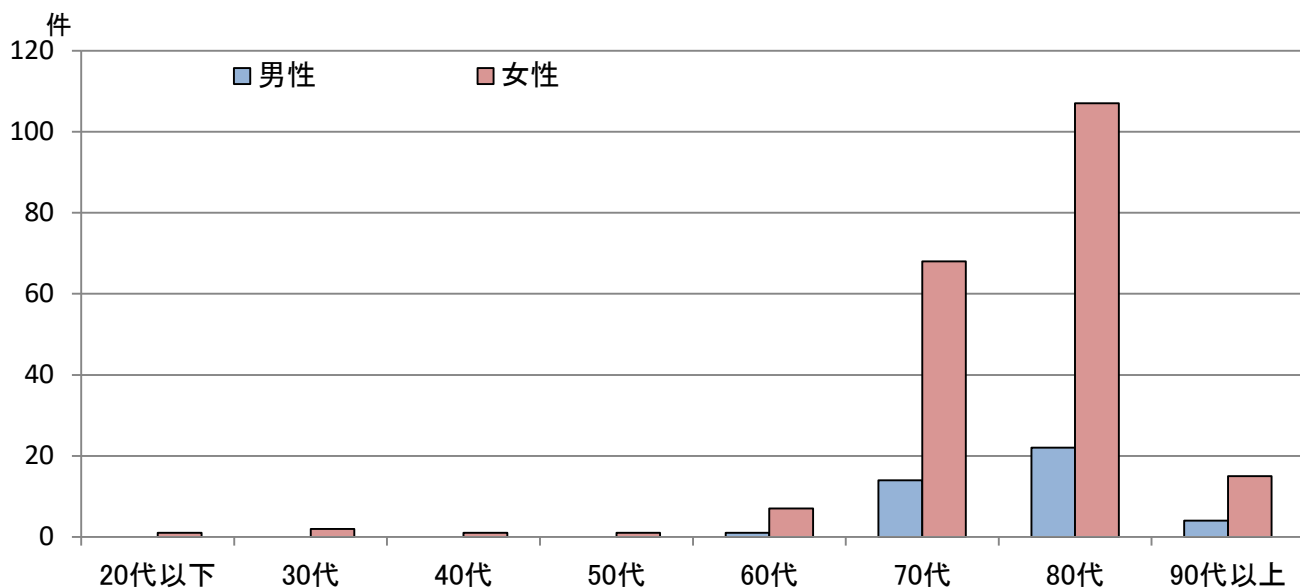
## (2) オレオレ詐欺

### ア 手口別認知件数

	認知件数	R2年上半期			認知件数	R元年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
傷害事件等示談金	4	4	0	11,241,000	5	4	1	7,103,950
横領事件等示談金	14	10	4	31,501,000	22	13	9	53,398,000
痴漢事件等示談金	2	2	0	3,500,000	3	2	1	3,080,000
妊娠中絶費用等	9	8	1	49,500,000	11	9	2	27,900,000
借金等の返済	2	2	0	3,000,000	2	0	2	0
損失補填金等	158	142	16	557,759,800				
その他(上記以外)	54	51	3	205,700,925	230	203	27	892,667,625
<b>合計</b>	<b>243</b>	<b>219</b>	<b>24</b>	<b>862,202,725</b>	<b>273</b>	<b>231</b>	<b>42</b>	<b>984,149,575</b>
前年比	-30	-12	-18	-121,946,850				

※ R2年から「損失補填金等」を計上

### イ 年代別・男女別の認知件数

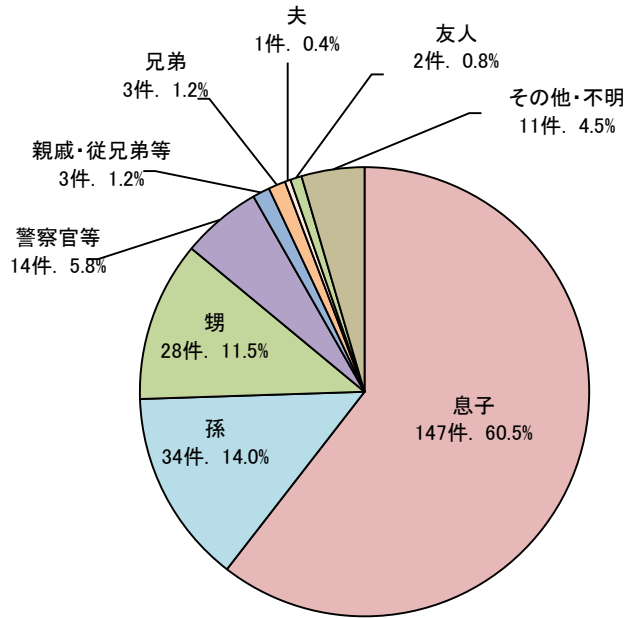


		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
		R2年 上半期	男性	0	0	0	0	1	14	22		4
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	34.1%	53.7%	9.8%	100.0%		
女性	1		2	1	1	7	68	107	15	202	83.1%	
割合	0.5%		1.0%	0.5%	0.5%	3.5%	33.7%	53.0%	7.4%	100.0%		
合計	1		2	1	1	8	82	129	19	243		
割合	0.4%		0.8%	0.4%	0.4%	3.3%	33.7%	53.1%	7.8%	100.0%		
	前年比		-1	-1	-2	-6	-3	-12	-12	+7	-30	
	増減率	-50.0%	-33.3%	-66.7%	-85.7%	-27.3%	-12.8%	-8.5%	+58.3%	-11.0%		
R元年 上半期	男性	0	0	1	2	2	16	34	0	55	20.1%	
	割合	0.0%	0.0%	1.8%	3.6%	3.6%	29.1%	61.8%	0.0%	100.0%		
	女性	2	3	2	5	9	78	107	12	218		79.9%
	割合	0.9%	1.4%	0.9%	2.3%	4.1%	35.8%	49.1%	5.5%	100.0%		
	合計	2	3	3	7	11	94	141	12	273		
割合	0.7%	1.1%	1.1%	2.6%	4.0%	34.4%	51.6%	4.4%	100.0%			

○ 被害者の割合は、94.7%(230人)が70代以上、男女別では83.1%(202人)が女性であり、いずれも、特殊詐欺全体(70代以上85%・女性73.8%)と比べ、高い割合になっている。

## ウ 欺罔者(登場人物)別の認知件数

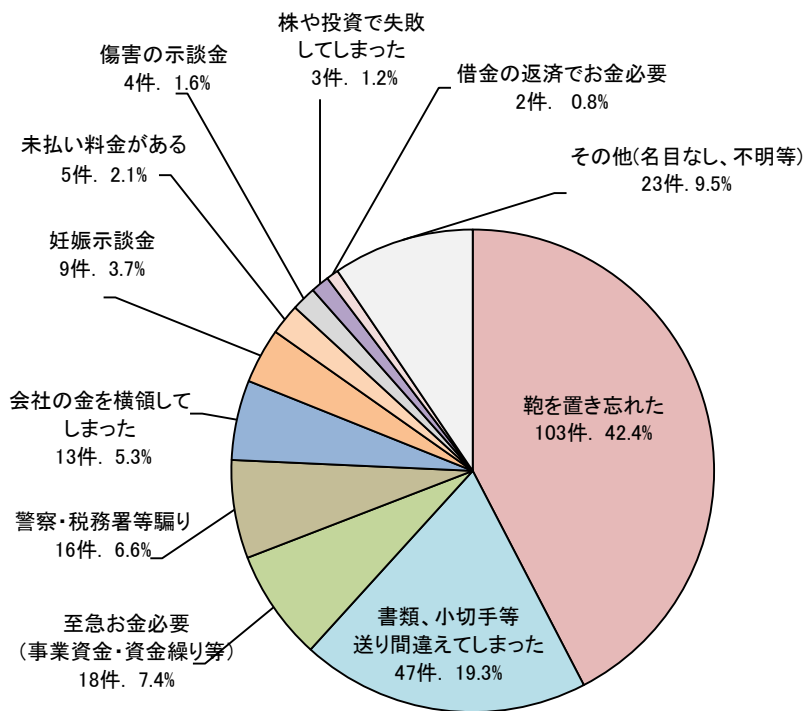
【オレオレ詐欺の認知件数 243件】



- 息子等「親族」騙りが全体の88.9%(216件)を占め、息子騙りが60.5%(147件)で最も多く、次いで孫騙りが14%(34件)となっている。

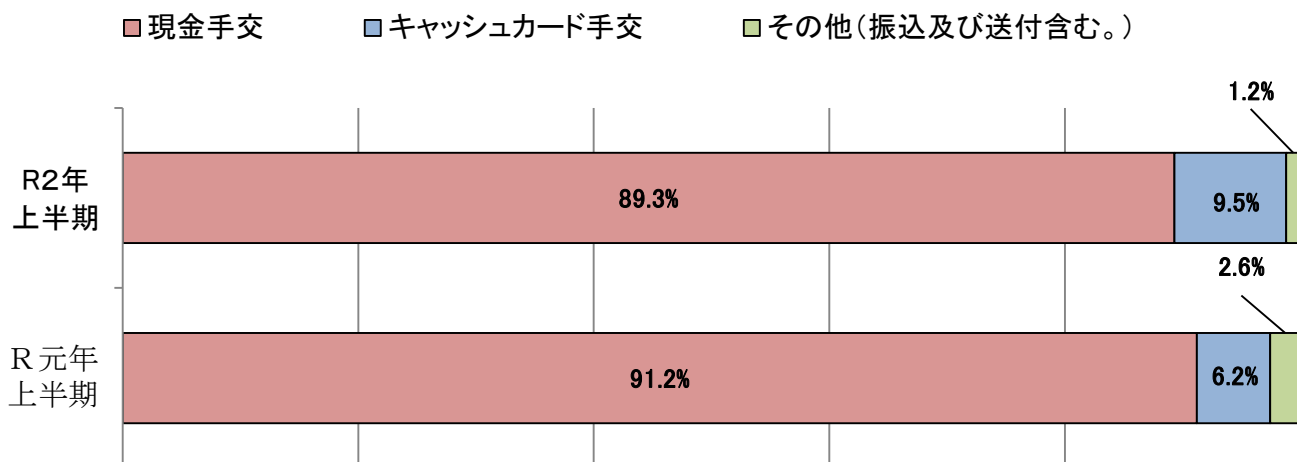
## エ 欺罔文言(だまし文句)別の認知件数

【オレオレ詐欺の認知件数 243件】



## オ 被害金等受取方法別の被害状況

	現金			キャッシュカード		その他 不明	合計
	手交	振込	送付	手交	送付		
R2年上半期	217	3	0	23	0	0	243
割合	89.3%	1.2%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	100.0%
前年比	-32	-4	±0	+6	±0	±0	-30
増減率	-12.9%	-57.1%	-	+35.3%	-	-	-11.0%
R元年上半期	249	7	0	17	0	0	273
割合	91.2%	2.6%	0.0%	6.2%	0.0%	0.0%	100.0%



### 【オレオレ詐欺の主な手口】

- **鞆忘れ(損失補填金等)**  
親族等を装い、「(病院、駅、喫茶店のトイレ等)に会社で必要な大事な物(小切手等)が入った鞆を置き忘れて(盗まれて)困っている。」等と言い、現金等をだまし取る手口
- **会社の大事な書類又は荷物等を違う場所に送り間違える(損失補填金等)**  
親族等を装い、「会社で使う大事な書類又は荷物、郵便物などを違う場所に送り間違えてしまい、お金が必要になった。」等と言い、現金等をだまし取る手口
- **会社の金を横領**  
親族等を装い、「会社のお金を使って株又は投資に失敗してしまった。今日、監査が入る。穴埋めのお金を貸してくれないか。」等と言い、現金等をだまし取る手口

### 【新たに発生している手口】

- 『偽札』が出回っている  
警察官及び家電量販店等を装い、「あなたのカードが不正に利用されています。あなたの口座も狙われています。口座から下したほうがいいですよ。どのくらい、現金をお持ちですか。〇〇銀行で『偽札』が出回っているようです。確認する必要があります。預けてください。」等と言い、現金等をだまし取る手口



### (3) 預貯金詐欺

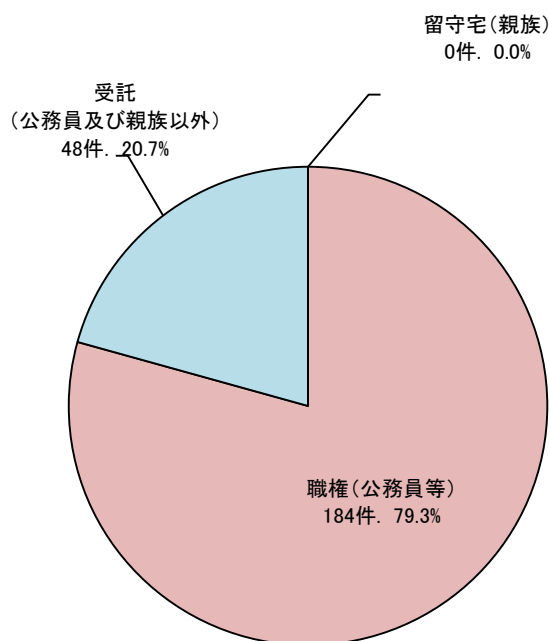
#### ア 手口別認知件数

	認知件数	R2年上半期			認知件数	R元年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
職権(公務員等)	184	174	10	269,017,600	439	414	25	524,958,084
留守宅(親族)	0	0	0	0	0	0	0	0
受託(公務員及び親族以外)	48	42	6	52,223,435	110	108	2	144,184,646
合計	232	216	16	321,241,035	549	522	27	669,142,730
前年比	-317	-306	-11	-347,901,695				

※ R元年の「オレオレ詐欺」、「架空請求詐欺」におけるカード手交を「預貯金詐欺」に分類して前年比を算出

#### イ 手口別割合

【預貯金詐欺の認知件数 232件】



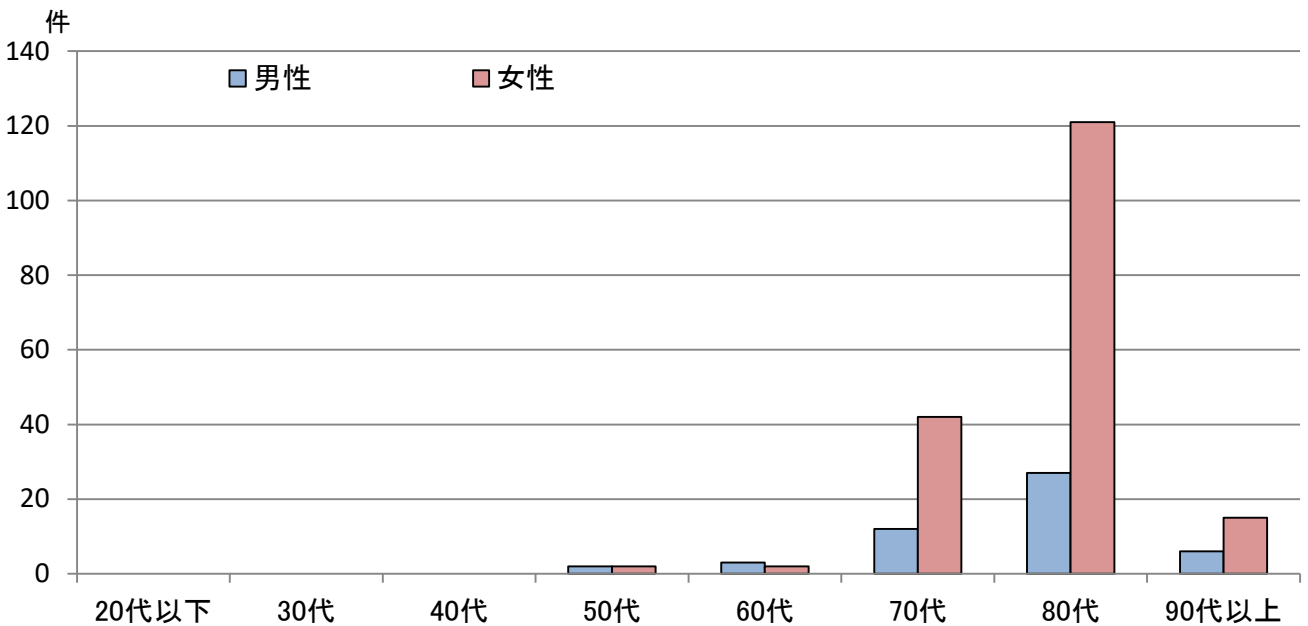
#### 【預貯金詐欺の主な手口】

- 職権(公務員等)  
警察官、金融庁、市役所等の公務員又は公益事業者(水道局、電気会社、ガス会社等)などが一度でも登場して、カード交換などの名目でキャッシュカード等をだまし取る手口
- 受託(公務員及び親族以外)  
百貨店店員、家電量販店店員、銀行協会等のみで、公務員、親族などが登場せずに騙しが完結し、キャッシュカードをだまし取る手口

#### 【発生の多い手口】

- あなた名義のカードが犯罪に使われている  
警察官又は大手百貨店、家電量販店を装い、「あなた名義のカードで買い物している者がいる。カードはお持ちですか。偽造されている可能性があるので、カードと暗証番号を変更する必要があります。」等と言い、キャッシュカードやクレジットカードをだまし取る手口

## ウ 年代別・男女別の認知件数



		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
R2年 上半期	男 性	0	0	0	2	3	12	27	6	50	21.6%	
	割 合	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	6.0%	24.0%	54.0%	12.0%	100.0%		
	女 性	0	0	0	2	2	42	121	15	182		78.4%
	割 合	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	1.1%	23.1%	66.5%	8.2%	100.0%		
	合 計	0	0	0	4	5	54	148	21	232		
	割 合	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	2.2%	23.3%	63.8%	9.1%	100.0%		
前年比	±0	±0	±0	+1	±0	-158	-162	+2	-317			
増減率	-	-	-	+33.3%	±0.0%	-74.5%	-52.3%	+10.5%	-57.7%			
R元年 上半期	男 性	0	0	0	1	1	9	17	2	30	5.5%	
	割 合	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	3.3%	30.0%	56.7%	6.7%	100.0%		
	女 性	0	0	0	2	4	203	293	17	519		94.5%
	割 合	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.8%	39.1%	56.5%	3.3%	100.0%		
合 計	0	0	0	3	5	212	310	19	549			
割 合	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.9%	38.6%	56.5%	3.5%	100.0%			

○ 被害者の割合は、96.1%(223人)が70代以上、男女別では78.4%(182人)が女性であり、いずれも、特殊詐欺全体(70代以上85%・女性73.8%)と比べ、高い割合になっている。

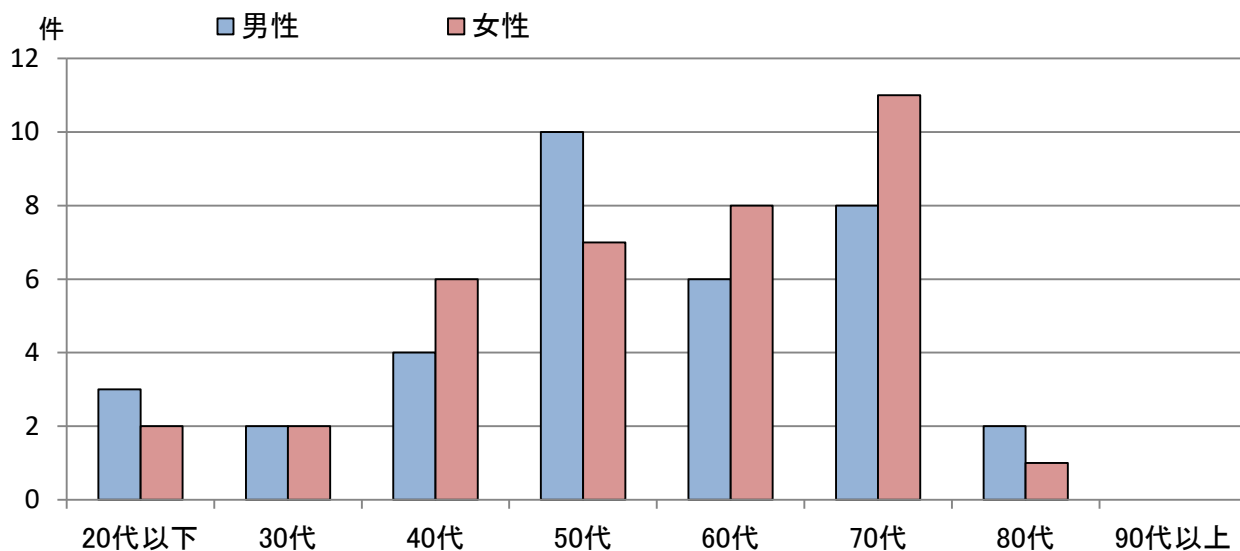
## (4) 架空料金請求詐欺

### ア 手口別認知件数

	認知件数	R2年上半期			認知件数	R元年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
有料サイト利用料金等	51	51	0	135,284,260	76	76	0	89,779,140
名義貸しトラブル等	1	1	0	200,000	0	0	0	0
情報買取抹消料金等	0	0	0	0	2	2	0	4,400,000
訴訟関係費用等	3	2	1	699,120	65	55	10	269,801,925
その他(上記以外)	17	17	0	122,426,061	53	53	0	564,623,651
合計	72	71	1	258,609,441	196	186	10	928,604,716
前年比	-124	-115	-9	-669,995,275				

※ 昨年手口項目にあった「その他各種サービス利用料金」は削除され、R元年分は「その他」に計上

### イ 年代別・男女別の認知件数



		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
		R2年上半期	男性	3	2	4	10	6	8	2		0
	割合	8.6%	5.7%	11.4%	28.6%	17.1%	22.9%	5.7%	0.0%	100.0%		
	女性	2	2	6	7	8	11	1	0	37	51.4%	
	割合	5.4%	5.4%	16.2%	18.9%	21.6%	29.7%	2.7%	0.0%	100.0%		
	合計	5	4	10	17	14	19	3	0	72		
	割合	6.9%	5.6%	13.9%	23.6%	19.4%	26.4%	4.2%	0.0%	100.0%		
	前年比	-15	-8	-3	-24	-31	-25	-16	-2	-124		
	増減率	-75.0%	-66.7%	-23.1%	-58.5%	-68.9%	-56.8%	-84.2%	-100.0%	-63.3%		
R元年上半期	男性	9	6	5	19	14	10	5	0	68	34.7%	
	割合	13.2%	8.8%	7.4%	27.9%	20.6%	14.7%	7.4%	0.0%	100.0%		
	女性	11	6	8	22	31	34	14	2	128	65.3%	
	割合	8.6%	4.7%	6.3%	17.2%	24.2%	26.6%	10.9%	1.6%	100.0%		
	合計	20	12	13	41	45	44	19	2	196		
	割合	10.2%	6.1%	6.6%	20.9%	23.0%	22.4%	9.7%	1.0%	100.0%		

○ 男女を問わず各年代で被害が発生している。

○ 被害者の割合は、30.6%(22人)が70代以上、男女別では、51.4%(37人)が女性であり、いずれも特殊詐欺全体(70代以上85%・女性73.8%)と比べ、割合は低くなっている。

## ウ 被害金等受取方法別の被害状況

	現金				キャッシュカード		コンビニ決済	ATM決済 (ペイジー)	その他 不明	合計
	電子マネー	手交	振込	送付	手交	送付				
R2年上半期	49	1	16	6	0	0	0	0	0	72
割合	68.1%	1.4%	22.2%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
前年比	-47	-8	-3	-50	-2	±0	-11	-3	±0	-124
増減率	-49.0%	-88.9%	-15.8%	-89.3%	-100.0%	-	-100.0%	-100.0%	-	-63.3%
R元年上半期	96	9	19	56	2	0	11	3	0	196
割合	49.0%	4.6%	9.7%	28.6%	1.0%	0.0%	5.6%	1.5%	0.0%	100.0%

- 電子マネーが68.1%(49件)と最も多く、次いで現金振込が22.2%(16件)となっている。

### 【架空料金請求詐欺の主な手口】

○ **有料サイト利用料金等名目**

メール等で有料サイトの利用料金等が未納であると伝え、「利用料金や延滞料金等を支払わないと訴訟になる。」等と言い、現金等をだまし取る手口

○ **名義貸しトラブル等**

老人ホームの入居権や土地、マンションの購入等に関して、名義貸しをしたことによるトラブル解決名目で現金等をだまし取る手口

○ **訴訟示談金・和解金・供託金(はがき・封書)**

「消費料金に関する訴訟最終通知のお知らせ」、「裁判準備期間事前通知書」などと記載のはがき等を投函した上で、「裁判取り下げ最終期日を経て、訴訟を開始させていただきます。ご連絡なき場合、原告側の主張が受理され、給与の差押え及び動産、不動産の差押えを強制的に履行させていただきます。」等と言い、現金等をだまし取る手口

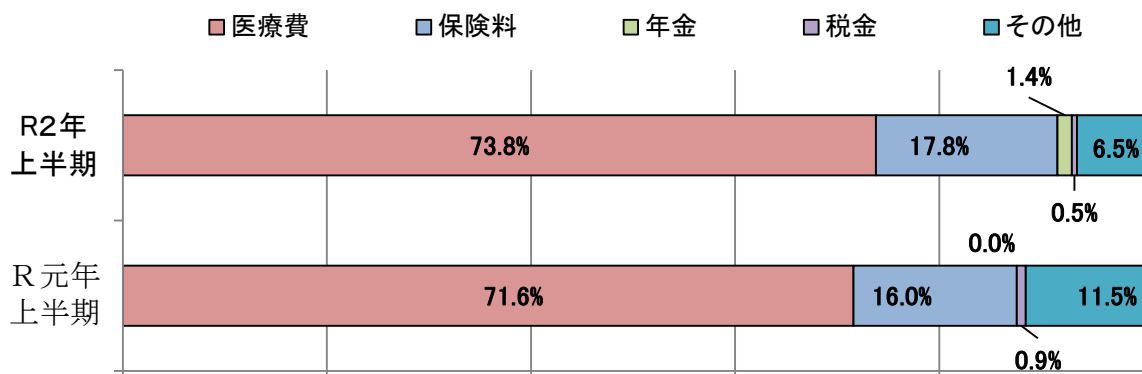
## (5) 還付金詐欺

### ア 手口別認知件数

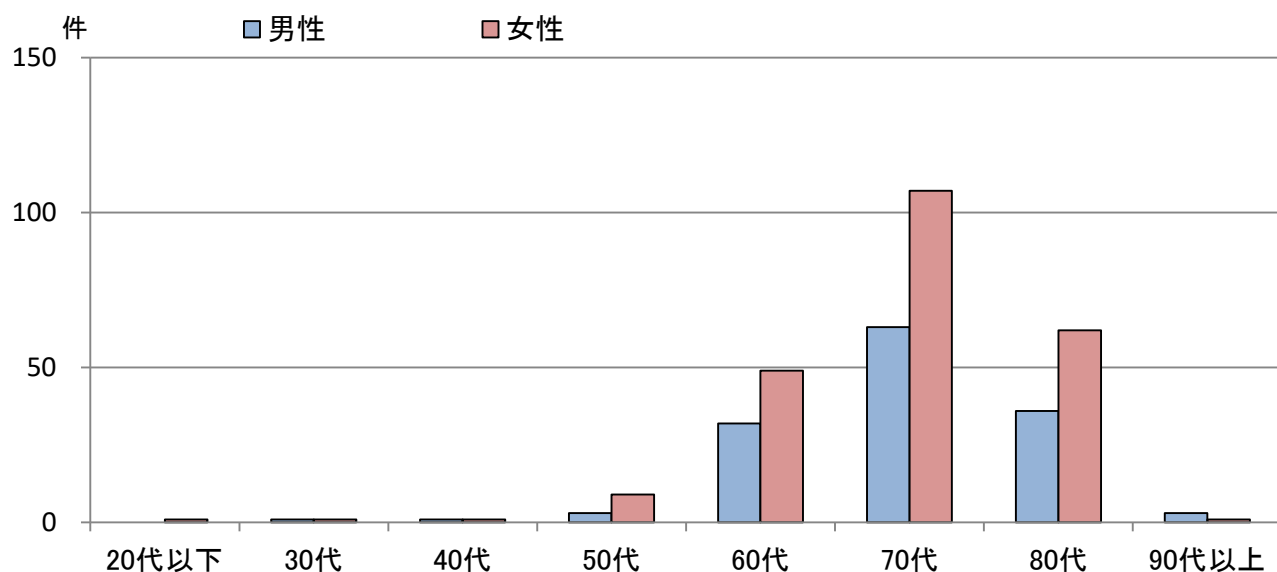
	認知件数	R2年上半期			認知件数	R元年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
医療費	273	273	0	475,831,114	416	416	0	569,798,078
健康保険・社会保険等	66	66	0	92,096,561	93	93	0	109,383,543
年金	5	5	0	5,480,767	0	0	0	0
税金	2	2	0	1,924,445	5	5	0	11,120,248
その他(上記以外)	24	24	0	49,265,995	67	67	0	89,631,824
合計	370	370	0	624,598,882	581	581	0	779,933,693
前年比	-211	-211	±0	-155,334,811				

### イ 手口別割合

	医療費	保険料	年金	税金	その他	合計
R2年上半期	273	66	5	2	24	370
割合	73.8%	17.8%	1.4%	0.5%	6.5%	100.0%
R元年上半期	416	93	0	5	67	581
割合	71.6%	16.0%	0.0%	0.9%	11.5%	100.0%



### ウ 年代別・男女別の認知件数



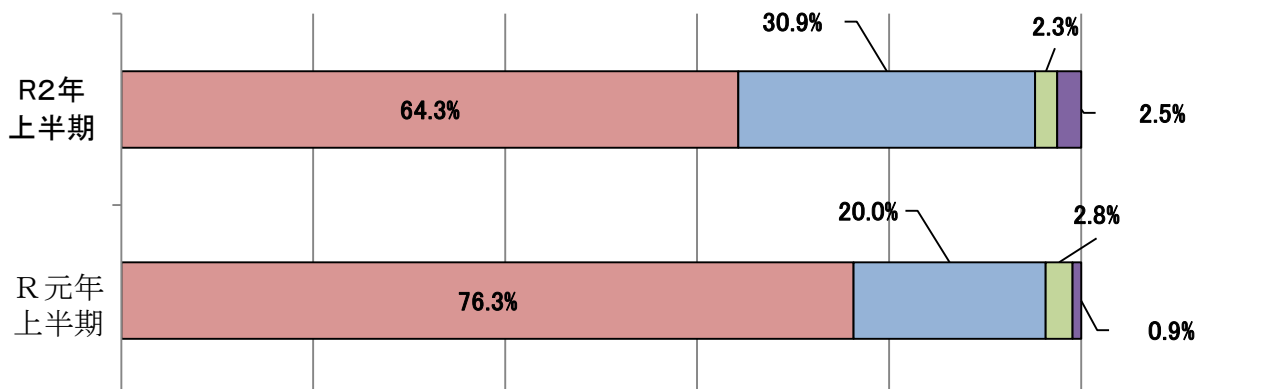
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R2年 上半期	男性	0	1	1	3	32	63	36	3	139	37.6%
	割合	0.0%	0.7%	0.7%	2.2%	23.0%	45.3%	25.9%	2.2%	100.0%	
	女性	1	1	1	9	49	107	62	1	231	62.4%
	割合	0.4%	0.4%	0.4%	3.9%	21.2%	46.3%	26.8%	0.4%	100.0%	
	合計	1	2	2	12	81	170	98	4	370	
	割合	0.3%	0.5%	0.5%	3.2%	21.9%	45.9%	26.5%	1.1%	100.0%	
	前年比	±0	-1	-18	-51	-74	-57	-9	-1	-211	
増減率	±0.0%	-33.3%	-90.0%	-81.0%	-47.7%	-25.1%	-8.4%	-20.0%	-36.3%		
R元年 上半期	男性	1	2	3	16	59	88	39	3	211	36.3%
	割合	0.5%	0.9%	1.4%	7.6%	28.0%	41.7%	18.5%	1.4%	100.0%	
	女性	0	1	17	47	96	139	68	2	370	63.7%
	割合	0.0%	0.3%	4.6%	12.7%	25.9%	37.6%	18.4%	0.5%	100.0%	
合計	1	3	20	63	155	227	107	5	581		
割合	0.2%	0.5%	3.4%	10.8%	26.7%	39.1%	18.4%	0.9%	100.0%		

○ 被害者の割合は、73.5%(272人)は70代以上、男女別では62.4%(231人)が女性を占めており、いずれも、特殊詐欺全体(70代以上85%・女性73.8%)と比べ、割合は低くなっている。

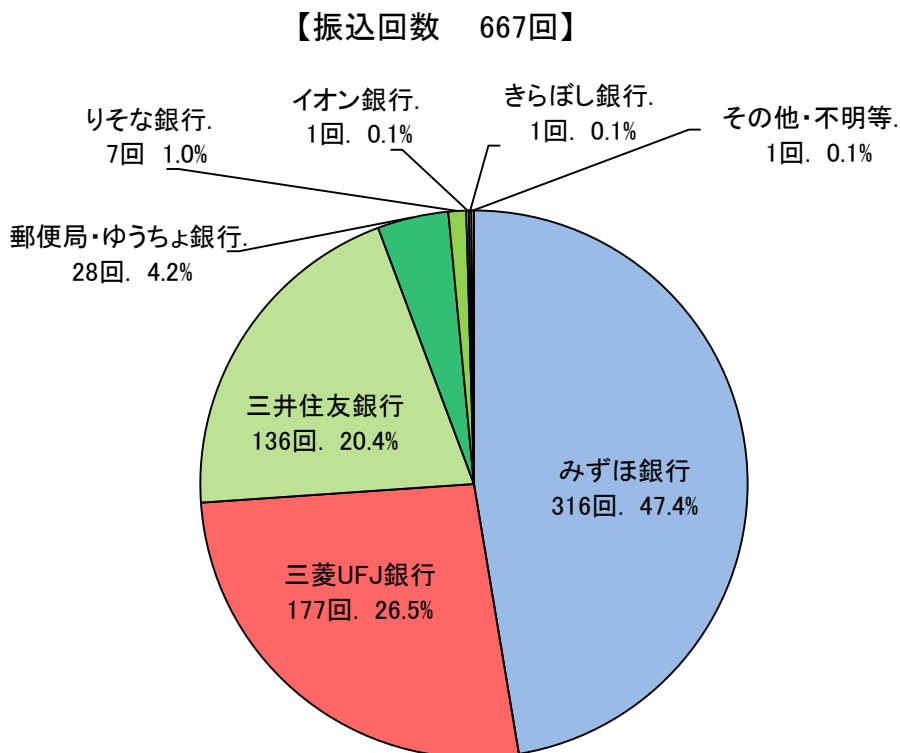
## エ 場所別の振込回数

	金融機関 無人ATM	金融機関 店舗内ATM	コンビニ ATM	その他 不明	合計
R2年上半期	667	320	24	26	1,037
割合	64.3%	30.9%	2.3%	2.5%	100.0%
R元年上半期	1,031	270	38	12	1,351
割合	76.3%	20.0%	2.8%	0.9%	100.0%

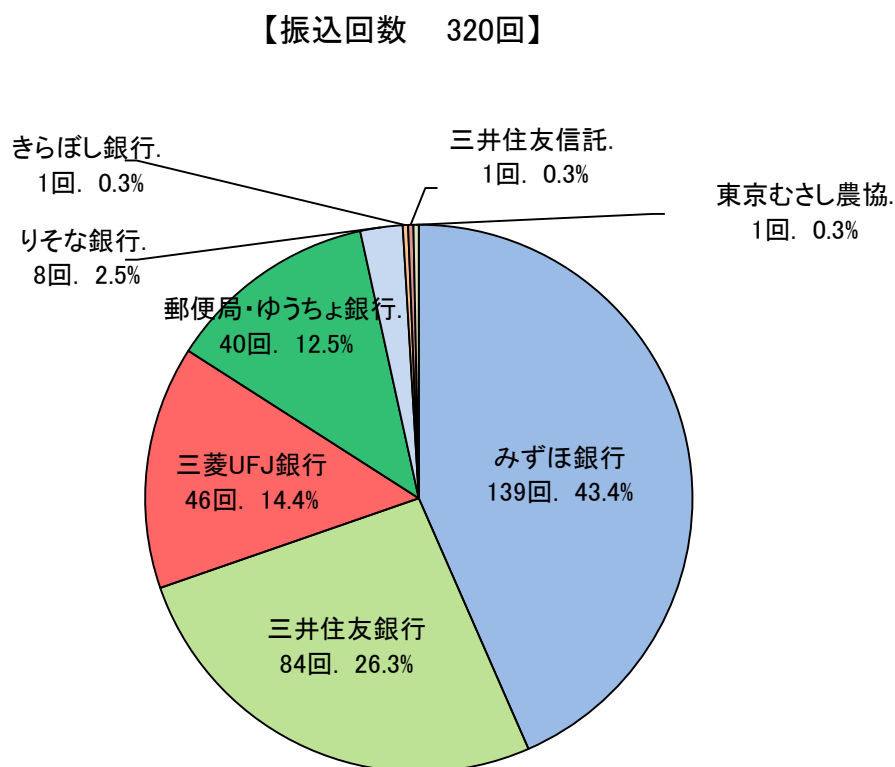
■金融機関無人ATM ■金融機関店舗内ATM ■コンビニATM ■その他・不明



## 場所別の振込回数【無人ATMの金融機関別】



## 場所別の振込回数【店舗内ATMの金融機関別】



## 才 被害者利用口座

### 被害者利用口座(金融機関別)の件数・回数

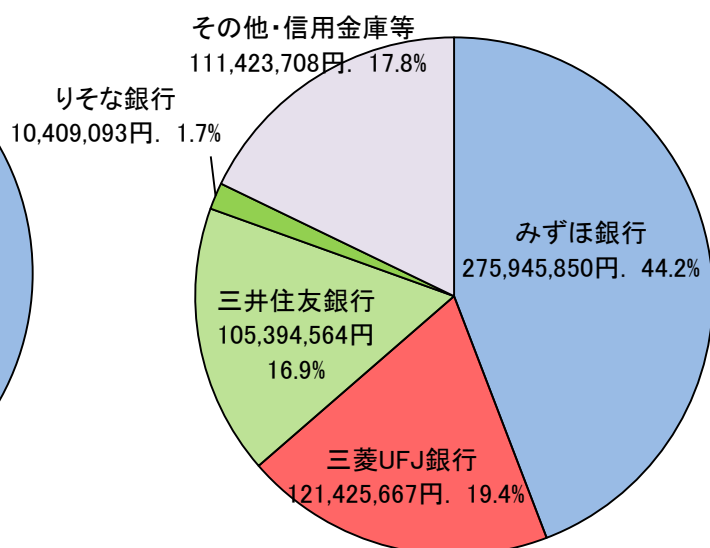
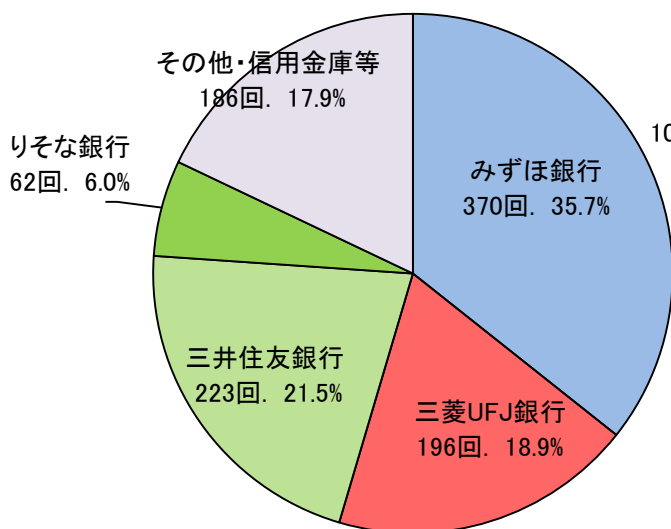
	みずほ銀行		三菱UFJ銀行		三井住友銀行		りそな銀行		その他金融機関		合 計	
	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数
R2年上半期	147	370	90	196	60	223	4	62	69	186	370	1,037
割合	39.7%	35.7%	24.3%	18.9%	16.2%	21.5%	1.1%	6.0%	18.6%	17.9%	100.0%	100.0%
R元年上半期	137	337	149	357	85	210	11	31	199	416	581	1,351
割合	23.6%	24.9%	25.6%	26.4%	14.6%	15.5%	1.9%	2.3%	34.3%	30.8%	100.0%	100.0%

### 被害者利用口座(金融機関別)の振込被害額

	みずほ銀行		三菱UFJ銀行		三井住友銀行		りそな銀行		その他金融機関		合 計	
	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数
R2年上半期	275,945,850	121,425,667	105,394,564	10,409,093	111,423,708	624,598,882						
割合	44.2%	19.4%	16.9%	1.7%	17.8%	100.0%						
R元年上半期	230,715,602	197,810,900	96,105,740	11,026,365	244,275,086	779,933,693						
割合	29.6%	25.4%	12.3%	1.4%	31.3%	100.0%						

【振込回数 1,037回】

【振込被害金額 6億2,459万8,882円】





## (6) 融資保証金詐欺

### ア 手口別認知件数

	認知件数	R2年上半期			認知件数	R元年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
融資保証金	14	14	0	28,248,153	8	8	0	46,273,375
合計	14	14	0	28,248,153	8	8	0	46,273,375
前年比	+6	+6	±0	-18,025,222				

### イ 年代別・男女別の認知件数

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
		R2年 上半期	男性	1	4	2	3	0	0	0		0
割合	10.0%		40.0%	20.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
女性	2		0	0	2	0	0	0	0	4		
割合	50.0%		0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
合計	3		4	2	5	0	0	0	0	14		
割合	21.4%		28.6%	14.3%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
R元年 上半期	前年比	+2	+4	±0	+3	-2	-1	±0	±0	+6	28.6%	
	増減率	+200.0%	-	±0.0%	+150.0%	-100.0%	-100.0%	-	-	+75.0%		
	男性	0	0	1	2	2	1	0	0	6		75.0%
	割合	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%		
	女性	1	0	1	0	0	0	0	0	2		
	割合	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
合計	1	0	2	2	2	1	0	0	8			
割合	12.5%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%			

- 20代以下から50代までの世代で被害が発生しており、男女別では71.4%(10人)が男性である。

#### 【融資保証金詐欺の主な手口】

##### ○ 融資保証金

実際には融資をしないにもかかわらず、融資を申し込んできた者に対し、保証金等の名目で現金等をだまし取る(脅し取る)手口

※ 被害者宅事務所に、「融資手続きのため、手数料や担保金を振り込む必要がある。日付をまたいでの振込では手続きができない。今まで振り込んだ費用については返金する。」等の内容の融資に関するFAXを送信し、融資を受けたいがために連絡をしてきた被害者から現金等をだまし取るもの

## (7) 金融商品詐欺

### ア 手口別認知件数

	認知件数	R2年上半期			認知件数	R元年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
有価証券等	13	11	2	65,387,679	0	0	0	0
外国通貨	0	0	0	0	0	0	0	0
物品	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(上記以外)	1	1	0	6,900,000	0	0	0	0
合 計	14	12	2	72,287,679	0	0	0	0
前 年 比	+14	+12	+2	+72,287,679				

### イ 年代別・男女別の認知件数

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R2年 上半期	男 性	0	0	0	1	0	3	0	0	4	28.6%
	割 合	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女 性	0	0	0	0	3	6	1	0	10	71.4%
	割 合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%	100.0%	
	合 計	0	0	0	1	3	9	1	0	14	
	割 合	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	21.4%	64.3%	7.1%	0.0%	100.0%	
	前年比	±0	±0	±0	+1	+3	+9	+1	±0	+14	
増減率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
R元年 上半期	男 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	割 合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	割 合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
割 合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

#### 【金融商品詐欺の主な手口】

##### ○ 有価証券等

手形、小切手、株券、社債券等の有価証券等取引の名目で現金等をだまし取る手口

※ 被害者宅の固定電話に架電し、会社員を名乗り、「金融庁の監査が入って、あなたに名義貸しの疑いがかけてられています。回避するには、貯蓄債権を購入してもらえば、名義貸しがなかったこととなります。」等と欺き、債権購入を促し、現金等をだまし取るもの

## (8) ギャンブル詐欺

### ア 手口別認知件数

	認知件数	R2年上半期			認知件数	R元年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
パチンコ必勝法等	2	2	0	2,975,000	0	0	0	0
競馬必勝法等	2	2	0	503,390	1	1	0	7,880,000
宝くじ当選情報等	0	0	0	0	2	2	0	19,250,000
その他(上記以外)	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	4	0	3,478,390	3	3	0	27,130,000
前年比	+1	+1	±0	-23,651,610				

### イ 年代別・男女別の認知件数

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R2年 上半期	男性	0	1	0	1	2	0	0	0	4	100.0%
	割合	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
	合計	0	1	0	1	2	0	0	0	4	
	割合	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	前年比	±0	+1	±0	+1	+1	-2	±0	±0	+1	
増減率	-	-	-	-	+100.0%	-100.0%	-	-	+33.3%		
R元年 上半期	男性	0	0	0	0	0	1	0	0	1	33.3%
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
	女性	0	0	0	0	1	1	0	0	2	66.7%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	0	0	0	0	1	2	0	0	3	
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%		

#### 【ギャンブル詐欺の主な手口】

##### ○ パチンコ必勝法等

パチンコ、パチスロの必勝法情報購入等の名目で現金等をだまし取る手口

※ 被害者の携帯電話に「パチンコの打ち子で何百万も稼ぐことができます。」等のメールを送信し、被害者が興味を持って、メールに記載された電話番号に電話をかけたところ、電話に出た男が、「パチンコの打ち子をするためには登録料が必要になる。登録料を支払ってくれば、必ず大当たりを引くことができる。」等と言い、現金等をだまし取るもの

## (9) 交際あっせん詐欺

### ア 手口別認知件数

	認知件数	R2年上半期			認知件数	R元年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
交際あっせん	1	1	0	400,000	0	0	0	0
合計	1	1	0	400,000	0	0	0	0
前年比	+1	+1	±0	+400,000				

### イ 年代別・男女別の認知件数

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R2年上半期	男性	0	0	1	0	0	0	0	
	割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
	合計	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	前年比	±0	±0	+1	±0	±0	±0	±0	±0	+1	
	増減率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
R元年上半期	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

#### 【交際あっせん詐欺の主な手口】

##### ○ 交際あっせん

不特定多数が購入する雑誌や誰でも閲覧できる掲示板等に「異性紹介」などと掲載したり、不特定多数の者に異性を紹介する旨のメールを送信、架電するなどして、これに応じて会員登録を申し込んできた者に対して会員登録料や保証金等の名目で現金等をだまし取る手口

※ 被害者の携帯電話に「あなたに合った女性を紹介します。」等を内容とする出会い系サイトのメールを送信し、被害者が興味を持って、メールに記載された電話番号に電話をかけたところ、電話に出た男が、「男性会員は入会金無料です。女性を紹介するので保証金を当社にお支払いください。」等と言い、現金等をだまし取るもの

## (10) その他の特殊詐欺

### ア 手口別認知件数

	認知件数	R2年上半期			認知件数	R元年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
その他の特殊詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0
前年比	±0	±0	±0	±0				

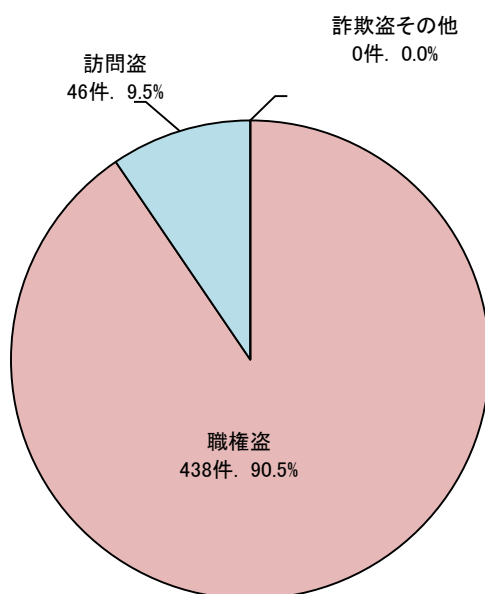
# (11) キャッシュカード詐欺盗

## ア 手口別認知件数

	認知件数	R2年上半期			認知件数	R元年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
職権盗	438	432	6	805,897,437	315	313	2	524,406,761
訪問盗	46	46	0	59,948,110	18	18	0	28,036,000
詐欺盗その他	0	0	0	0	3	3	0	2,000,000
合計	484	478	6	865,845,547	336	334	2	554,442,761
前年比	148	+144	+4	+311,402,786				

## イ 手口別割合

【キャッシュカード詐欺盗の認知件数 484件】



- ※ 職権盗 ～ 警察官、金融庁、市役所等の公務員又は公益事業者（水道局、電気会社、ガス会社等）などが一度でも登場して、カードの交換などの名目でキャッシュカード等を窃取するもの
- ※ 訪問盗 ～ 百貨店店員、家電量販店店員、銀行協会などのみで、公務員、親族などが登場せずに騙しが完結し、キャッシュカードを窃取するもの

### 【キャッシュカード詐欺盗の主な手口】

#### ○ キャッシュカード在中の封筒を別の封筒にすり替えて盗み取る

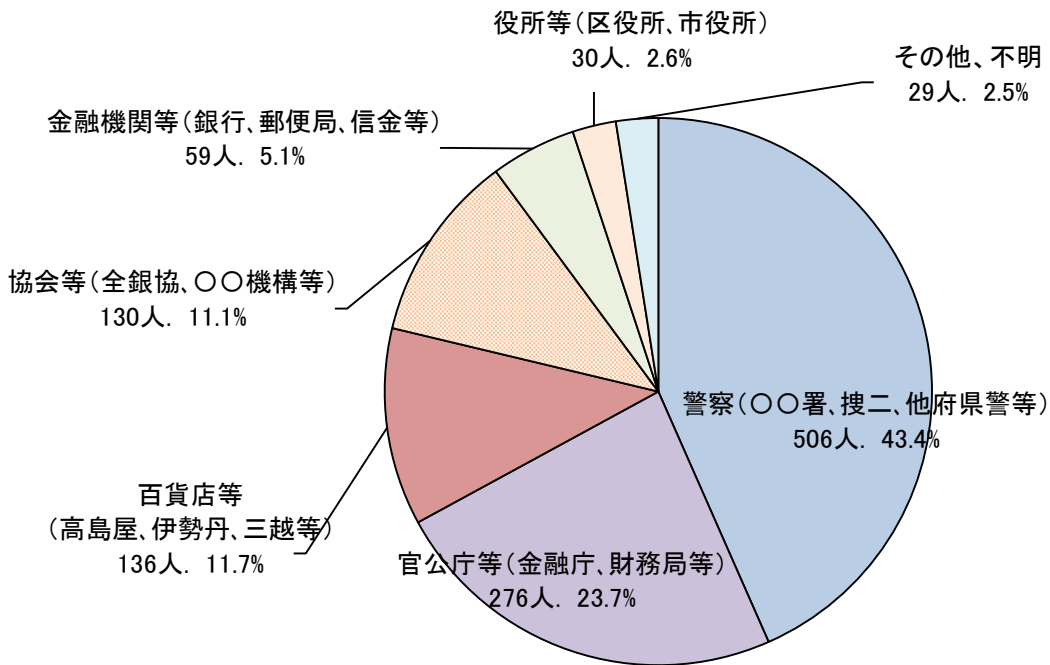
警察官又は大手百貨店、金融庁職員等を装い、「あなた名義のカードで買い物をしている者がいます。あなたのカードが悪用されています。カードを確認する必要があります。」等と言い、キャッシュカードをすり替えて、盗み取る手口

※ 被疑者は金融庁職員等を装い、被害者宅を訪れ、自ら準備してきた封筒に被害者名義等のキャッシュカード及び暗証番号記載のメモを入れさせた後、封印するために、「印鑑はありますか？印鑑を持ってきてください。」と被害者に申し向ける。

その後、被害者が印鑑を取りに行った隙に、あらかじめ準備していたポイントカード、トランプ等在中の封筒にすり替えて、戻ってきた被害者にすり替えた封筒に封印させた後、「新しいカードが届くまで、この封筒は開封せずに保管しておいてください。」などと申し向け、すり替えたキャッシュカードを盗み取るもの

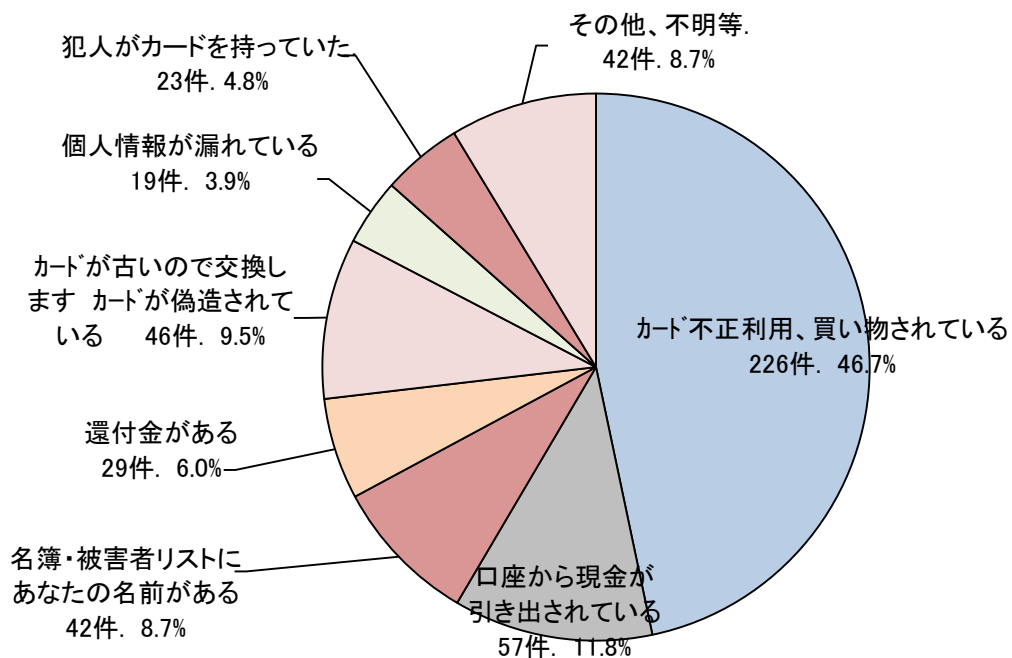
## ウ 欺罔者(登場人物)別の認知件数

【認知件数 484件・欺罔者(登場人物) 1,166人】

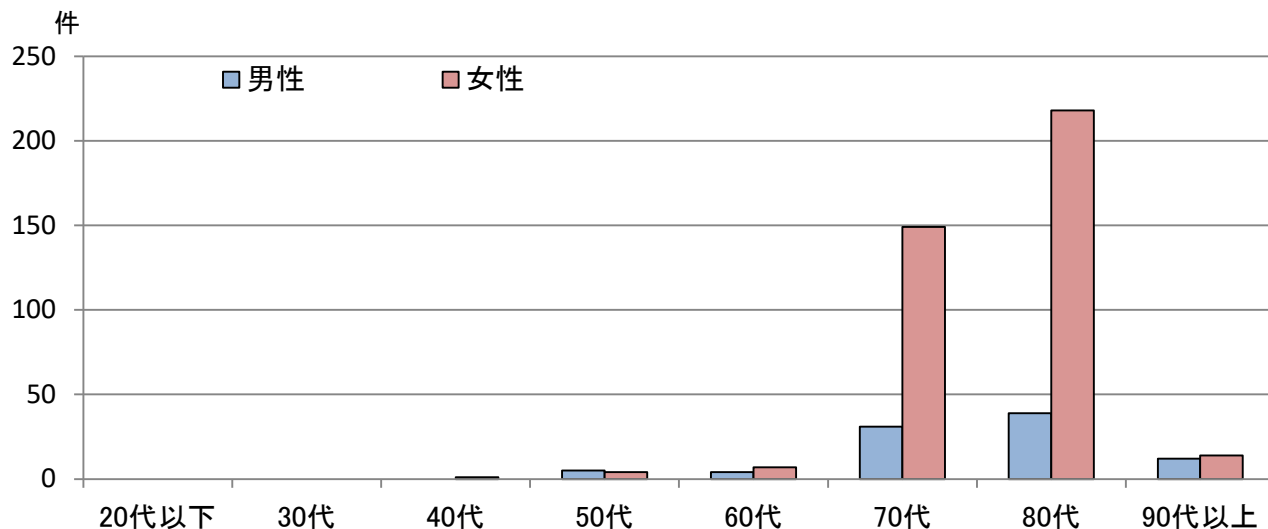


## エ 欺罔文言(だまし文句)別の認知件数

【認知件数 484件】



## オ 年代別・男女別の認知件数

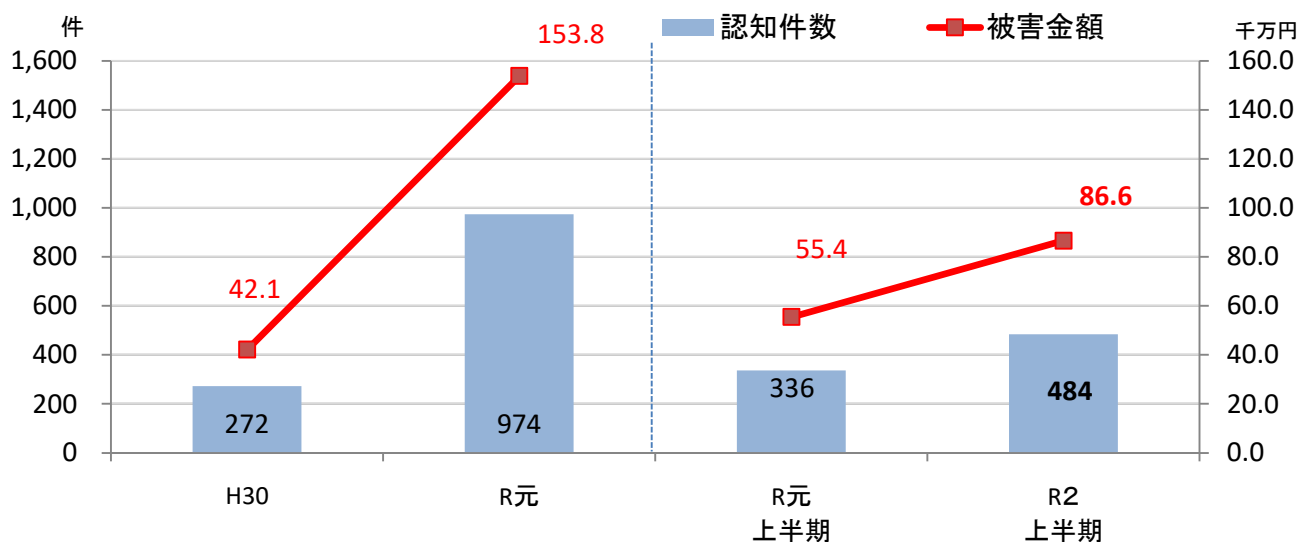


		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		男性	0	0	0	5	4	31	39	12	
R2年 上半期	割合	0.0%	0.0%	0.0%	5.5%	4.4%	34.1%	42.9%	13.2%	100.0%	
	女性	0	0	1	4	7	149	218	14	393	81.2%
	割合	0.0%	0.0%	0.3%	1.0%	1.8%	37.9%	55.5%	3.6%	100.0%	
	合計	0	0	1	9	11	180	257	26	484	
	割合	0.0%	0.0%	0.2%	1.9%	2.3%	37.2%	53.1%	5.4%	100.0%	
	前年比	±0	±0	±0	±0	-18	+58	+94	+14	+148	
	増減率	-	-	±0.0%	±0.0%	-62.1%	+47.5%	+57.7%	+116.7%	+44.0%	
R元年 上半期	男性	0	0	0	6	10	22	51	6	95	28.3%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	10.5%	23.2%	53.7%	6.3%	100.0%	
	女性	0	0	1	3	19	100	112	6	241	71.7%
	割合	0.0%	0.0%	0.4%	1.2%	7.9%	41.5%	46.5%	2.5%	100.0%	
	合計	0	0	1	9	29	122	163	12	336	
	割合	0.0%	0.0%	0.3%	2.7%	8.6%	36.3%	48.5%	3.6%	100.0%	

○ 被害者の割合は、95.7%(463人)が70代以上、男女別では、81.2%(393人)が女性となっている。

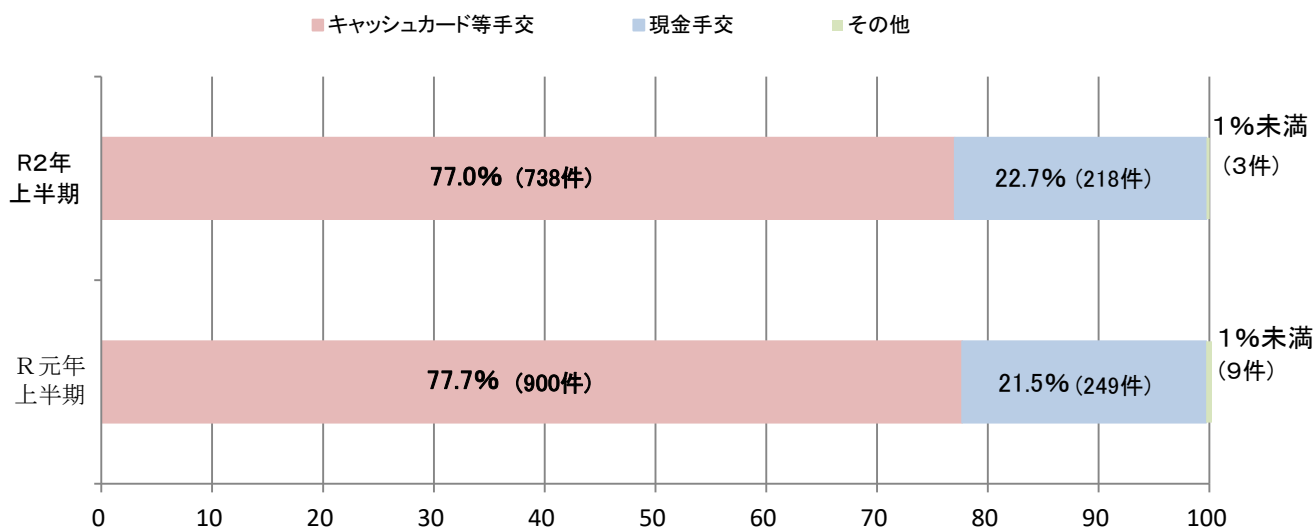
○ いずれも特殊詐欺全体(70代以上85%・女性73.8%)と比べ、高い割合になっている。

## カ 認知件数及び被害金額の推移 (過去2年)



○ 前年と比べ、認知件数は44%(148件)、被害金額は56%(約3億1,200万円)増加している。

## (12) キャッシュカード等手交等に占める割合

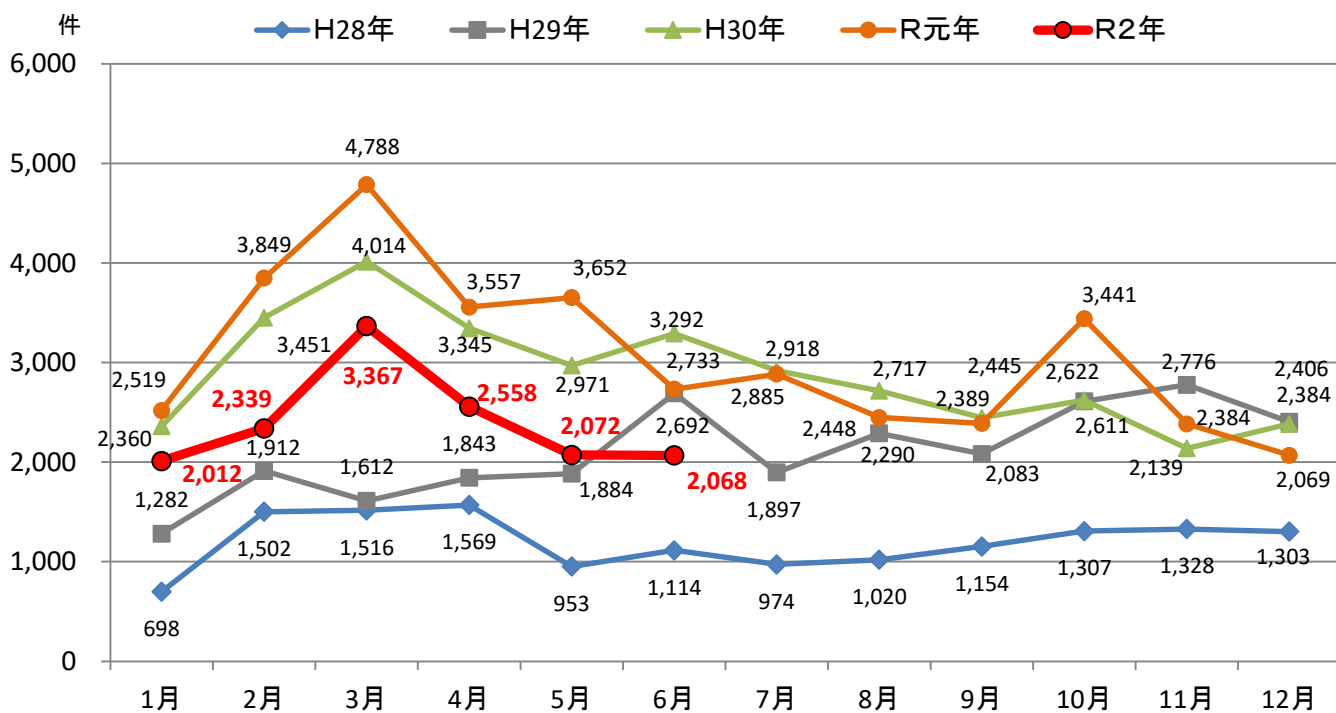


※ R2年上半期のグラフの数値は、「オレオレ詐欺」、「預貯金詐欺」、「キャッシュカード詐欺盗」の合計を示す。

※ 「その他」は、「振込」「送付」等を示す。

## (13) 犯行予兆電話の通報状況

【犯行予兆電話通報件数(H28年～R2年)】



R2年上半期 → 1万4,416件 (前年比 -6,682件)

R元年上半期 → 2万1,098件 (前年比 +1,665件)

H30年上半期 → 1万9,433件 (前年比 +8,208件)

H29年上半期 → 1万1,225件 (前年比 +3,873件)



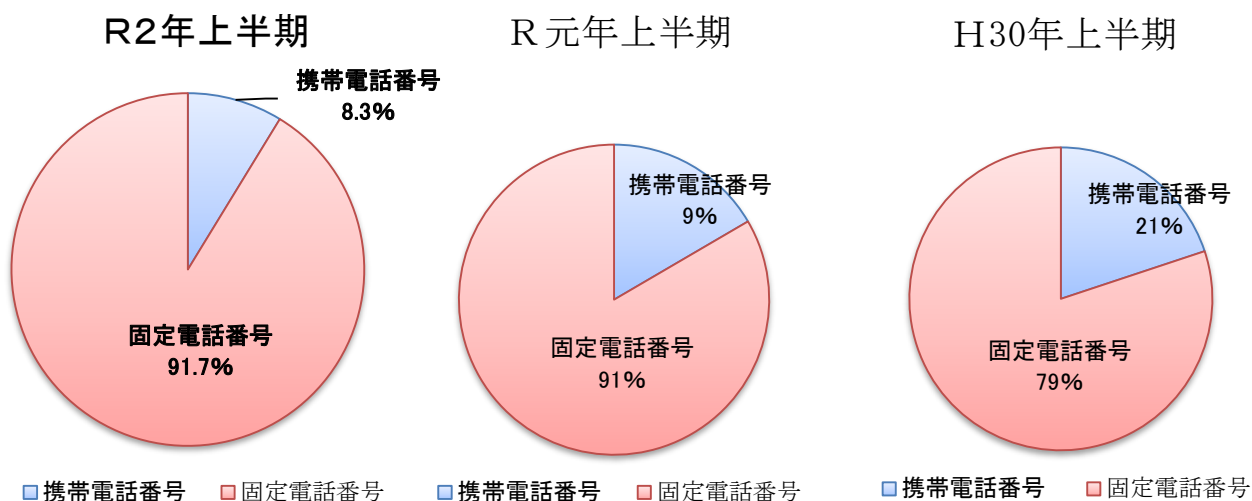
- R2年上半期における新型コロナウイルス感染症に便乗した詐欺は、被害が1件発生し、91件の犯行予兆電話を把握している。

**【被害認知 1件】**

(被害者) 荒川区在住 70代女性

4月23日(木)午後4時ころ、被害者宅の固定電話に兄を名乗る男から、「OBとやっているコロナ関連事業の打合せがあつて、その打合せをしていた喫茶店で、トイレに入った隙に財布と書類が入った鞆を盗まれた。自分も用立てなければならない。」等の内容の電話があり、複数回にわたり、現金合計1,420万円をだまし取られたもの

**(14) 犯行利用電話の種別**

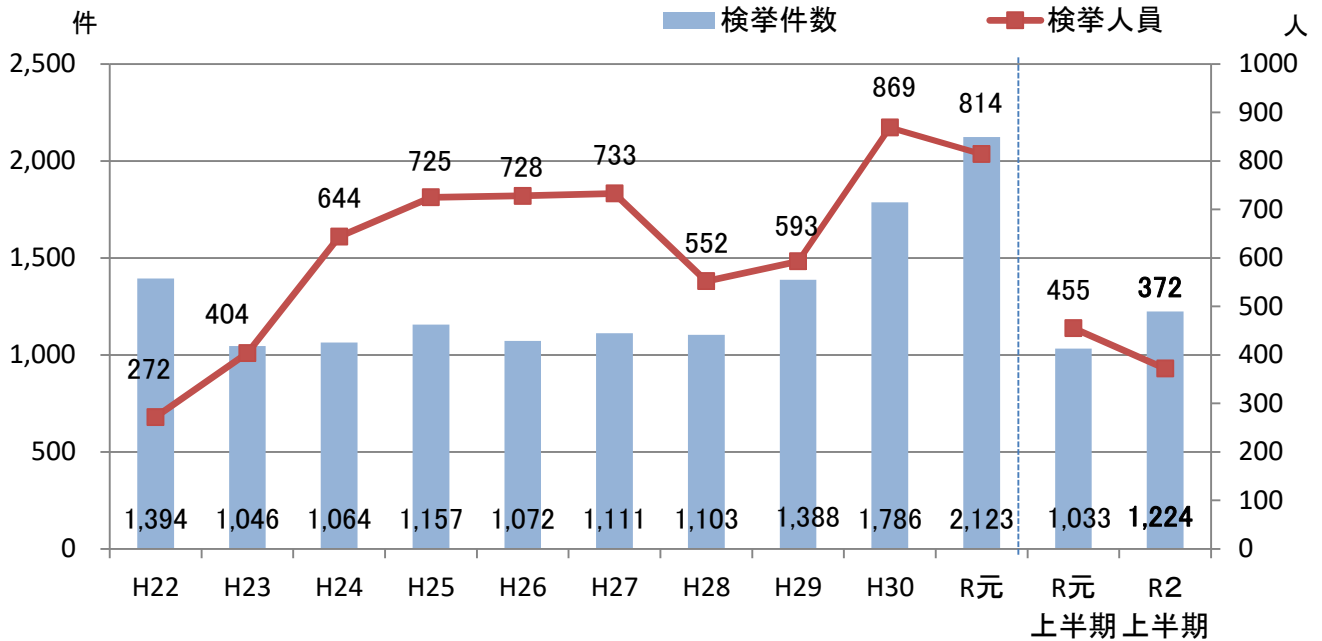


※ 固定電話番号とは、犯人が使用している固定電話や携帯電話からの発信を、インターネット上で電話転送し、被害者の電話に掛かってくる電話番号が『03又は06』等からはじまる全国の固定電話番号や『050』からはじまる電話番号で着信表示させるものをいう。

## 2 検挙状況

### (1) 特殊詐欺本犯

#### ア 検挙状況の推移 (H22～R2)



※ H23年からR元年まで「振り込め類似詐欺」を計上、H30年から「キャッシュカード詐欺盗」を計上

#### イ 類型別の検挙状況

	R2年上半期								R元年上半期			
	件数				人員				件数		人員	
	件数	割合	前年比	増減率	人員	割合	前年比	増減率	件数	割合	人員	割合
オレオレ詐欺	295	24.1%	+40	+15.7%	114	30.6%	-76	-40.0%	255	24.7%	190	41.8%
預貯金詐欺	69	5.6%	-299	-81.3%	59	15.9%	-60	-50.4%	368	35.6%	119	26.2%
架空料金請求詐欺	112	9.2%	-21	-15.8%	25	6.7%	-81	-76.4%	133	12.9%	106	23.3%
還付金詐欺	231	18.9%	+118	+104.4%	19	5.1%	+16	+533.3%	113	10.9%	3	0.7%
融資保証金詐欺	59	4.8%	+34	+136.0%	6	1.6%	+6	—	25	2.4%	0	0.0%
金融商品詐欺	4	0.3%	+1	+33.3%	6	1.6%	+3	+100.0%	3	0.3%	3	0.7%
ギャンブル詐欺	0	0.0%	-2	-100.0%	0	0.0%	±0	—	2	0.2%	0	0.0%
交際あっせん詐欺	3	0.2%	+3	—	2	0.5%	+2	—	0	0.0%	0	0.0%
その他の特殊詐欺	1	0.1%	+1	—	0	0.0%	±0	—	0	0.0%	0	0.0%
キャッシュカード詐欺盗	450	36.8%	+316	+235.8%	141	37.9%	+107	+314.7%	134	13.0%	34	7.5%
<b>合計</b>	<b>1,224</b>	<b>100.0%</b>	<b>+191</b>	<b>+18.5%</b>	<b>372</b>	<b>100.0%</b>	<b>-83</b>	<b>-18.2%</b>	<b>1,033</b>	<b>100.0%</b>	<b>455</b>	<b>100.0%</b>

○ 前年と比べ、検挙件数は増加しているものの、検挙人員は減少している。

#### ウ 犯行拠点（アジト）摘発状況

	摘発箇所	検挙人員
R2年上半期	9	25
R元年上半期	12	66
前年比	-3	-41

## エ 年代別・男女別の検挙人員

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別割合
R2年 上半期	男性	60	189	57	27	4	2	0	0	0	339	91.1%
	割合	17.7%	55.8%	16.8%	8.0%	1.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	5	17	2	5	2	1	1	0	0	33	8.9%
	割合	15.2%	51.5%	6.1%	15.2%	6.1%	3.0%	3.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	65	206	59	32	6	3	1	0	0	372	
	割合	17.5%	55.4%	15.9%	8.6%	1.6%	0.8%	0.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
	前年比	-22	-34	-20	+1	-9	±0	+1	±0	±0	-83	
増減率	-25.3%	-14.2%	-25.3%	+3.2%	-60.0%	±0.0%	-	-	-	-18.2%		
R元年 上半期	男性	81	221	70	29	12	3	0	0	0	416	91.4%
	割合	19.5%	53.1%	16.8%	7.0%	2.9%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	6	19	9	2	3	0	0	0	0	39	8.6%
	割合	15.4%	48.7%	23.1%	5.1%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	87	240	79	31	15	3	0	0	0	455	
割合	19.1%	52.7%	17.4%	6.8%	3.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		

- 検挙人員の男女別では、91.1%(339人)が男性で占めているが、前年と比べ、割合は減少している。
- 年代別の男女別では、10代から30代までの男性が306人で、男性全体の90.3%を占めている。
- 人数は少ないものの、女性は10代から70代までと幅広く、最も多い20代が51.5%(17人)となっている。
- 10代から30代の被疑者が、全体の88.7%(330人)を占め、60代以上の被疑者は1.1%(4人)となっている。
- 少年(10代)の被疑者は、前年と比べ、22人減少している。

## オ 少年・暴力団・外国人別の検挙人員

		検 挙 人 員	うち少年	うち暴力団	うち外国人
R2年 上半期	男性	339	60	86	18
	女性	33	5	1	4
	合計	372	65	87	22
	前年比	-83	-22	-21	-1
	割合	100.0%	17.5%	23.4%	5.9%
R元年 上半期	男性	416	81	108	17
	女性	39	6	0	6
	合計	455	87	108	23
	割合	100.0%	19.1%	23.7%	5.1%

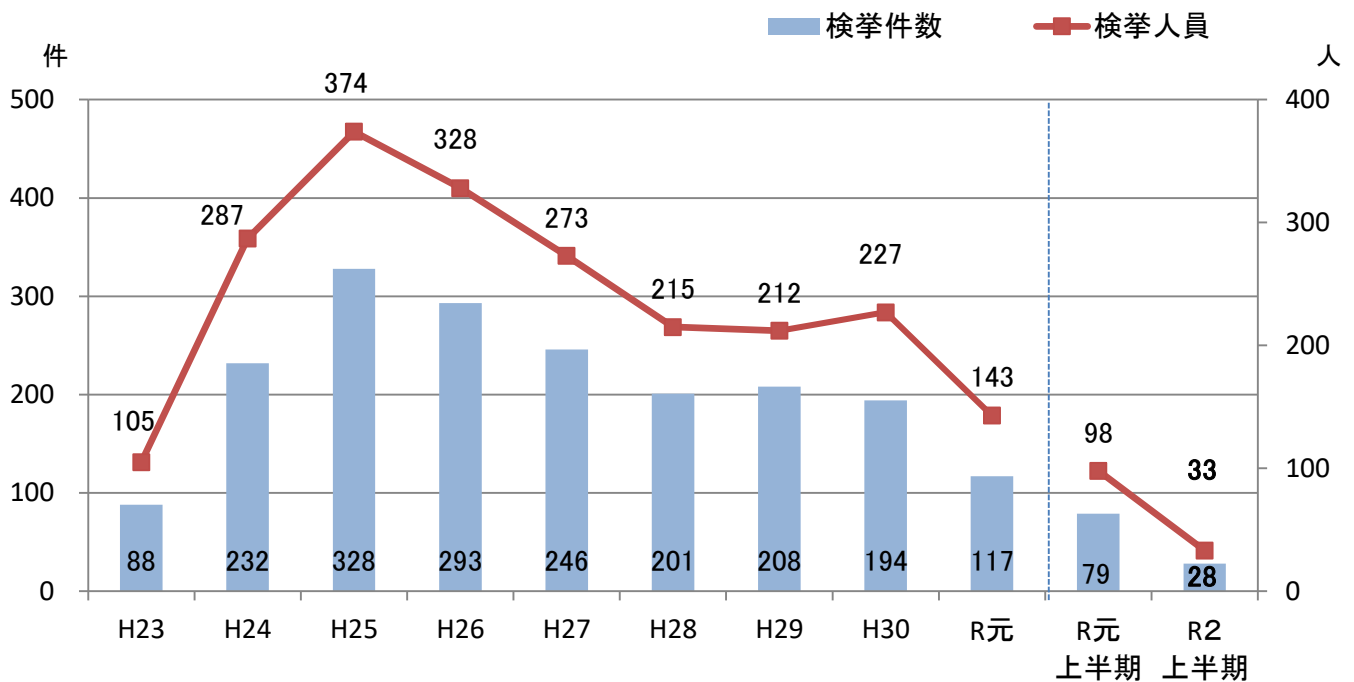
- 検挙人員のうち、少年17.5%(65人)、暴力団構成員等23.4%(87人)、外国人5.9%(22人)であり、前年と比べ、少年は22人、暴力団構成員等は21人、外国人は1人減少している。

## カ 役割別・男女別の検挙人員

		首魁	指示役	架け子	出し子	受け子	見張り役	リクルーター	その他	合計
R2年 上半期	男性	7	9	30	24	199	12	35	23	339
	女性	0	0	2	1	26	0	2	2	33
	合計	7	9	32	25	225	12	37	25	372
	前年比	-5	-1	-30	+13	-19	-1	-11	-29	-83
	割合	1.9%	2.4%	8.6%	6.7%	60.5%	3.2%	9.9%	6.7%	100.0%
R元年 上半期	男性	12	10	50	11	224	13	46	50	416
	女性	0	0	12	1	20	0	2	4	39
	合計	12	10	62	12	244	13	48	54	455
	割合	2.6%	2.2%	13.6%	2.6%	53.6%	2.9%	10.5%	11.9%	100.0%

- 受け子の検挙人員は、全体の60.5%(225人)を占めている。
- 受け子の男女別では、88.4%(199人)が男性で占めているものの、前年と比べ、割合は減少している。
- 受け子の女性は、前年と比べ30%(6人)増加している。
- 役割別のうち、出し子は前年と比べ、増加している。

## キ 現場設定(だまされた振り作戦)による検挙状況



- だまされた振り作戦による「現場設定検挙」は、前年と比べ、検挙件数は51件、検挙人員は65人減少している。

## (2) 特殊詐欺助長犯

### ア 類型別の検挙状況

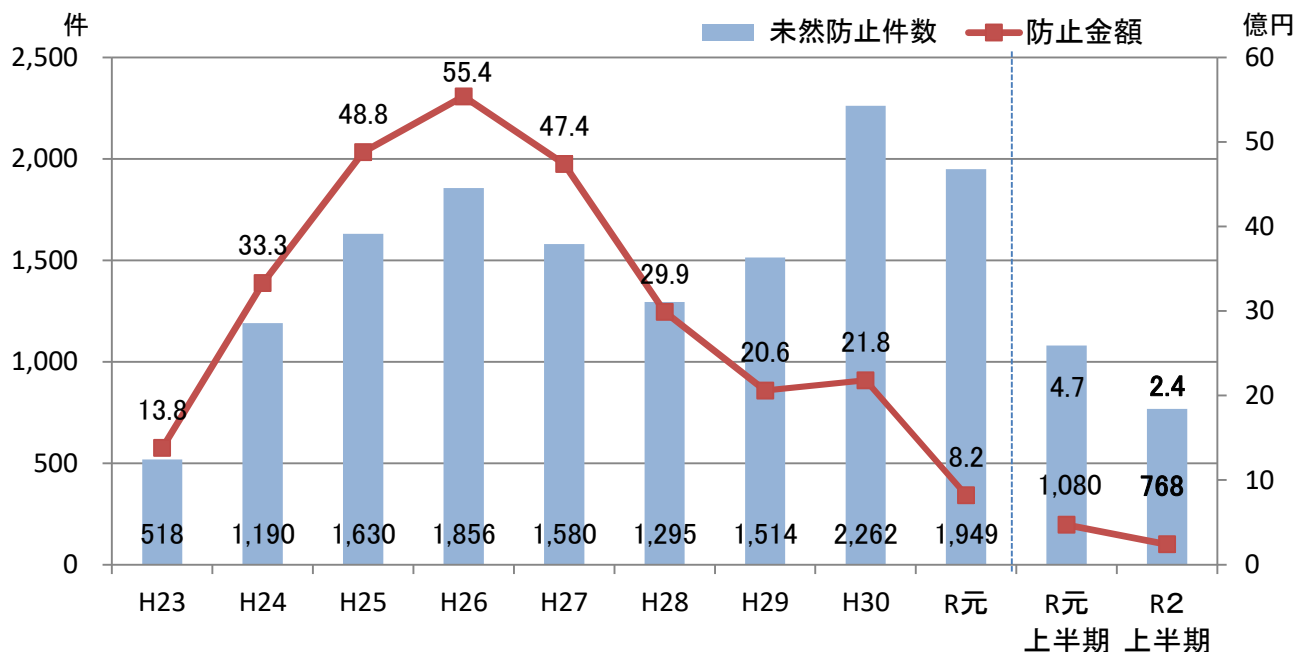
		口座開設詐欺	携帯電話 契約詐欺	犯罪収益移転 防止法違反	携帯電話不正 利用防止法違反	合 計
検 挙 件 数	R2年上半期	46	34	188	0	268
	R元年上半期	45	24	178	3	250
	前年比	+1	+10	+10	-3	+18
	増減率	2.2%	41.7%	5.6%	-100.0%	7.2%
検 挙 人 員	R2年上半期	23	23	168	0	214
	R元年上半期	31	15	178	1	225
	前年比	-8	+8	-10	-1	-11
	増減率	-25.8%	53.3%	-5.6%	-100.0%	-4.9%

○ 助長犯全体では、前年と比べ検挙人員は減少しているものの、検挙件数は増加している。

### 3 未然防止等の状況

#### (1) 未然防止状況

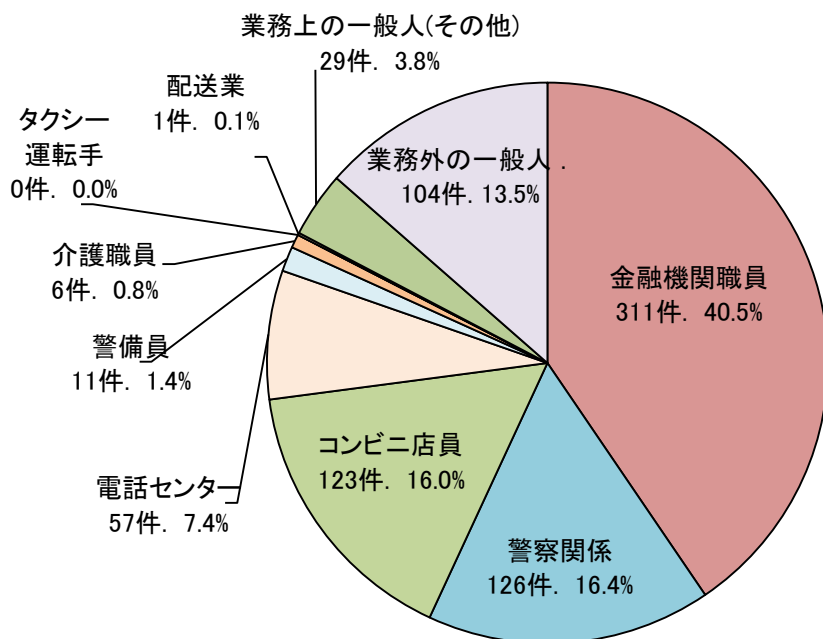
##### ア 未然防止の推移



○ 前年と比べ、未然防止件数は312件、防止金額は約2億3,000万円減少している。

##### イ 職種別の未然防止状況

【未然防止件数 768件】



	金融機関職員	警察関係	電話センター	コンビニ店員	業務上の一般人					業務外の一般人	合計
					警備員	介護職員	タクシー運転手	配送業	その他		
R2年上半期	311	126	57	123	11	6	0	1	29	104	768
割合	40.5%	16.4%	7.4%	16.0%	1.4%	0.8%	0.0%	0.1%	3.8%	13.5%	100.0%
前年比	-193	-125	+57	+15	-13	-5	-6	-2	-13	-27	-312
増減率	-38.3%	-49.8%	-	+13.9%	-54.2%	-45.5%	-100.0%	-66.7%	-31.0%	-20.6%	-28.9%
R元上半期	504	251	0	108	24	11	6	3	42	131	1,080

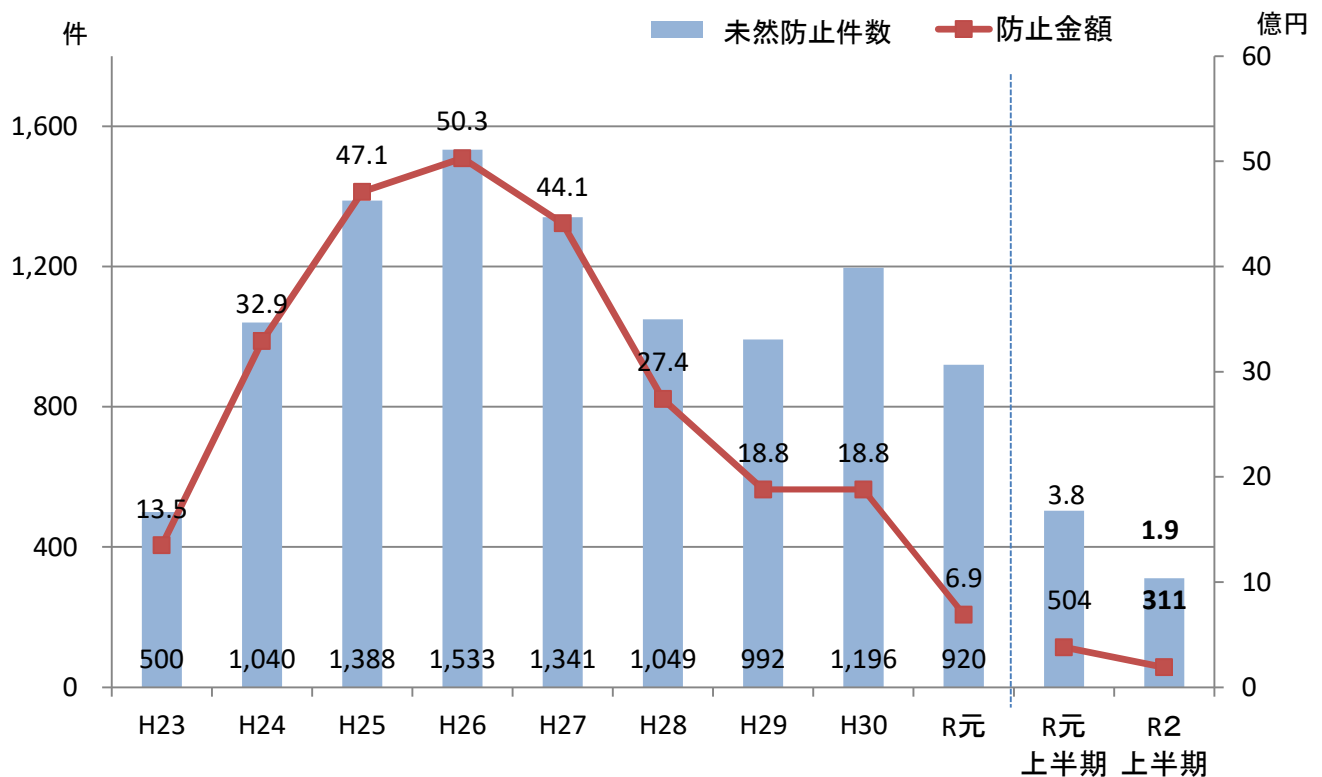
※ 本年から、「特殊詐欺被害防止対策電話センター(電話センター)」を計上

※ 業務外の一般人とは、友人、知人、ATM利用者等を示す。

○ 金融機関職員による未然防止が、全体の40.5%(311件)を占めている。

## (2) 金融機関による未然防止状況

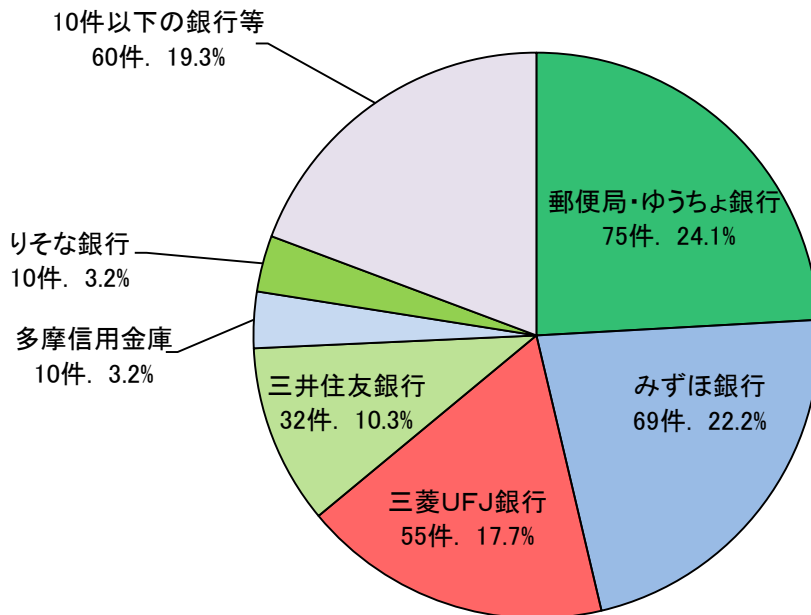
### ア 未然防止の推移



○ 前年と比べ、未然防止件数は193件、防止金額は約1億9,000万円減少している。

## イ 金融機関別の未然防止状況

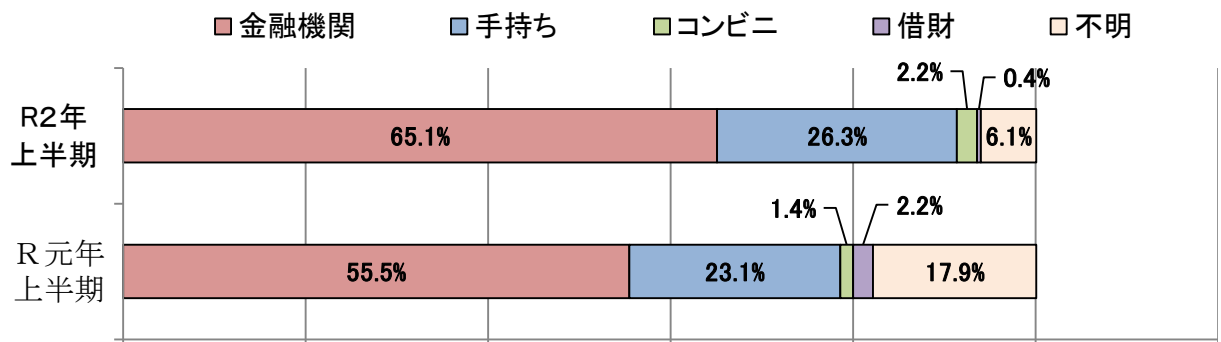
【未然防止件数 311件】



### (3) 被害金調達状況

#### ア 方法別の被害金調達状況

	金融機関	コンビニ	借財	手持ち	その他不明	合計
R2年上半期	363	12	2	147	34	558
割合	65.1%	2.2%	0.4%	26.3%	6.1%	100.0%
R元年上半期	356	9	14	148	115	642
割合	55.5%	1.4%	2.2%	23.1%	17.9%	100.0%



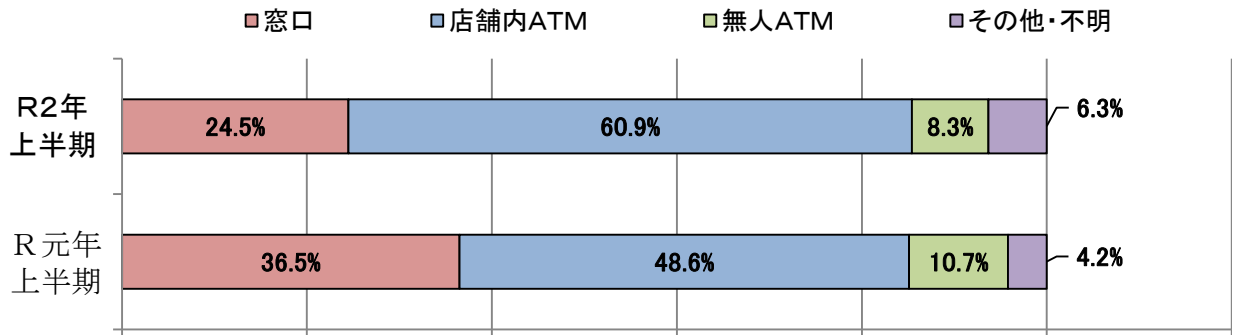
○ 被害金の調達回数は、前年と比べ、減少している。



## (4) 金融機関における被害金調達状況

### ア 方法別の被害金調達状況

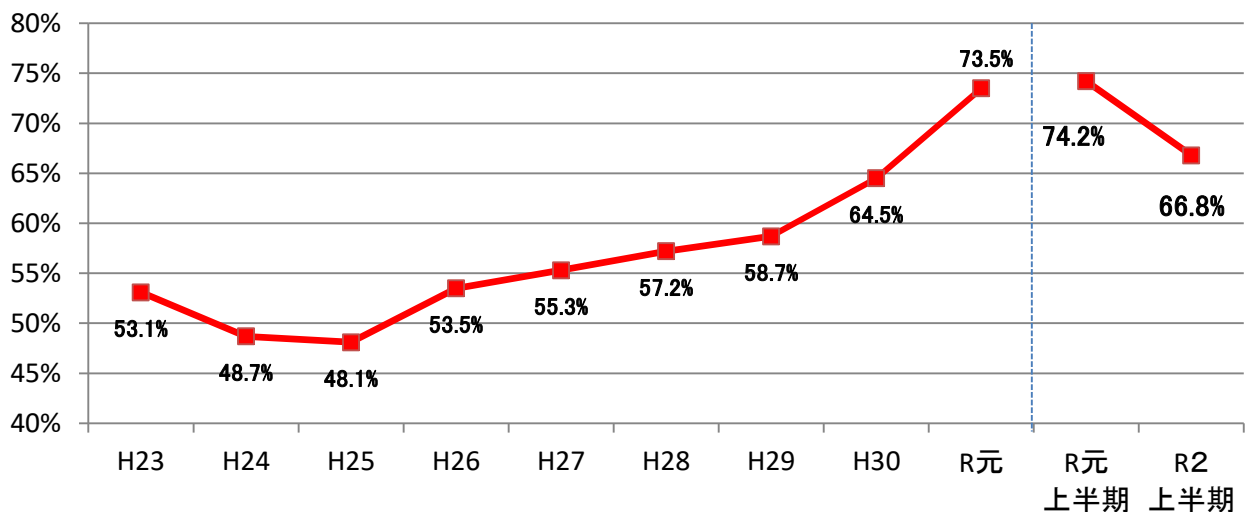
	窓口	A T M			その他不明	合計
		店舗内ATM	無人ATM	小計		
R2年上半期	89	221	30	251	23	363
割合	24.5%	60.9%	8.3%	69.1%	6.3%	100.0%
R元年上半期	130	173	38	211	15	356
割合	36.5%	48.6%	10.7%	59.3%	4.2%	100.0%



○ 店舗内、無人を問わず、A T Mでの調達の割合は全体の69.1%(251回)を占めている。

## (5) 金融機関窓口による阻止率

### ア 金融機関窓口における阻止率の推移



※阻止率=窓口での未然防止件数(179件)÷(窓口での未然防止件数(179件)+窓口での引き出し件数(89件))×100

#### 【現金調達時における「被疑者の指示」】

○ 「金融機関窓口」で、預貯金の引き出し又は定期預金等の解約をする理由

R 2 年上半期では

- ・ 旅行費用として
- ・ リフォーム代、修繕費用として
- ・ 子供(孫)の結婚費用として
- ・ お墓を購入するため
- ・ 財産整理として自宅に保管しておきたい
- ・ 車を購入するため

の指示が大半を占め、前年とほぼ変わりはない。

## (6) 未然防止の好事例

### 1 介護ヘルパーによる未然防止

防止者は、訪問介護のため被害者宅を訪れたところ、被害者（80代・女性）が電話で「いつまでも私に頼るな」等と大声で話していたことから、ただ事ではないと思い電話を代わると「息子です。財布を落として困っている」と言われたが息子と面識があり、声が違うことから詐欺の電話であると判断し電話を切った。防止者は被害者の息子に連絡したところ、詐欺であることが判明、警察に通報して、被害を未然に防止した。

### 2 配送業者による未然防止

防止者は、荷物の配達先が空き室であることを知っており、受取人から「不在にするから宅配BOXに入れておいて」との電話があったことから、荷物が詐欺の犯罪に関するものと確信し110番通報した。警察で送り先へ電話で確認したところ、オレオレ詐欺の被害者（80代・女性）が送った現金200万円（被害総額7,000万）であることが判明、被害を未然に防止した。

### 3 知人による未然防止

防止者は、買い物から帰宅途中、被害者（70代・女性）が具合が悪そうな様子で歩いていたので声を掛けたが「何でもない」と言うものの持っているカバンが気に入り、中を確認したところ通話中の携帯電話が入っていた。相手について尋ねると「電話会社の人、使用料金が1年間未納と言われて、コンビニに払いに行く」と申し立てたため、詐欺と確信し、携帯の電源を切って、被害を未然に防止した。

### 4 区役所防犯安全指導員による未然防止

被害者（70代・女性）は区役所職員を騙る者から、還付金詐欺のアポ電を受けていたところ、防止者が運転する防犯パトロールカーが詐欺被害防止の広報を実施しながら被害者宅付近を走行していた。被害者は、注意喚起の内容が、通話内容と同じであったことから、電話を切るとともに、すぐに区役所を訪問し「防犯パトカーの広報のおかげでだまされずに済みました」と申し立て被害が未然に防止されたことが判明した。

### 5 隣人による未然防止

防止者は、自宅付近を清掃中、近隣の被害者宅から電話で会話している声が聞こえたが、内容が郵便局からの連絡や自宅住所を教えている等の内容であったことから、不審に思って玄関先を見ると若い男が立っていた。男は目が合うとその場を立ち去ったため、被害者宅を訪問すると、被害者（80代・女性）は電話中で「息子と話している」と申し立てたが、電話を代わってもらい「〇〇さんでしょ」と息子の本名と違う名前と話しかけたところ「そうだよ」と答えたため、詐欺であると確信して電話を切り、警察に通報し被害を未然に防止した。